

ALITA

# SupportMonitor インストラクション マニュアル

[www.alita3x.com](http://www.alita3x.com)  
[support@alita3x.com](mailto:support@alita3x.com)



# 目次

## ■ インストールレーション マニュアル

- 説明
- 天井への取り付け (モニター用ベッドなし)
- 天井への取り付け (大きな部屋用)
- 天井への取り付け (モニター用ベッドあり)
- 天井への取り付け (通常ベッド)
- 壁面への取り付け (モニター用ベッドなし)
- 壁面への取り付け (モニター用ベッドあり)
- 壁面への取り付け (通常ベッド)
- 取り付けの方法
- デバイスのWiFi接続を設定します

## ■ 設定マニュアル

# ミリ波装置



表面



裏面



正面



背面

ミリ波装置

電源  
アダプタ



天井取付けブラケット



天井取付けブラケット  
裏面 (3M接着剤)



壁面取付けブラケット



壁面取付けブラケット  
側面図 (3M接着剤)

ブラケット



USBケーブル

# 表示マークの説明



警告



注意



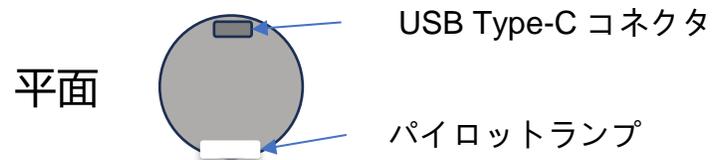
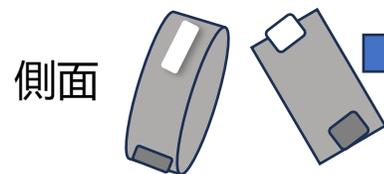
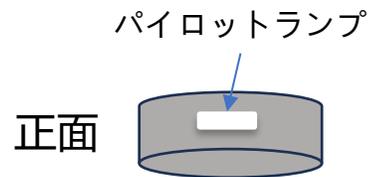
ヒント



レーダー監視範囲



干渉範囲



実物写真



USB Type-C  
コネクタ



実物写真



# 必要なツール



Or



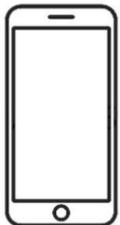
- 踏み台 もしくは スツール: 高さ 0.5m~1.0m



- テープメジャー: 長さ 約5.0m (デバイスから床まで測れるもの)



- 鉛筆: マーク用



And



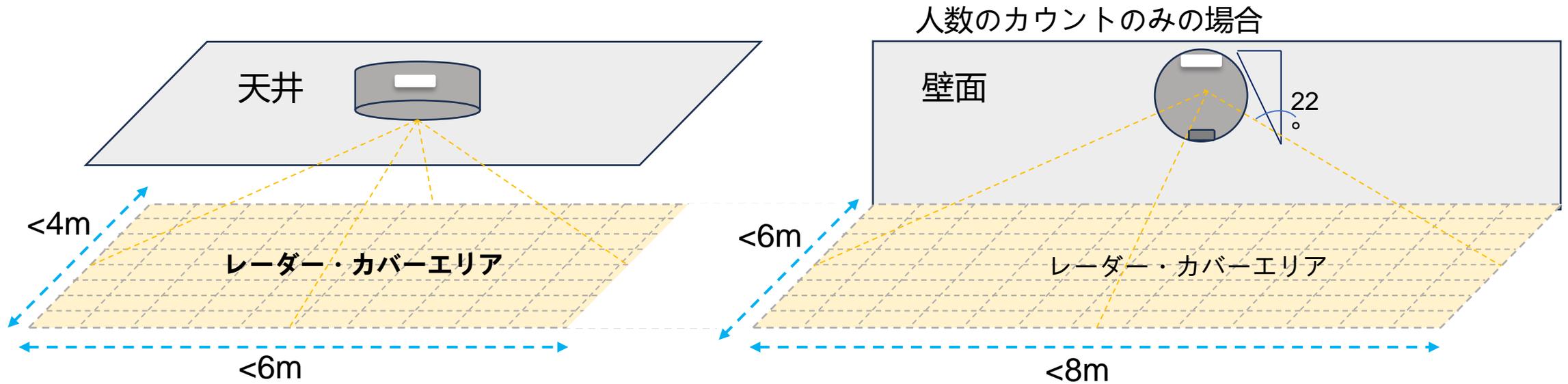
- スマホ (Android もしくは iOS): デバイスの設定・テスト用
- PC もしくは Laptop: 管理システム

# 必要なインターネット環境



WiFi版は2.4GHzのみサポート（5GHzはサポートしていません）

# 説明: レーダーのカバー・エリア (1/2)



## △ 注意

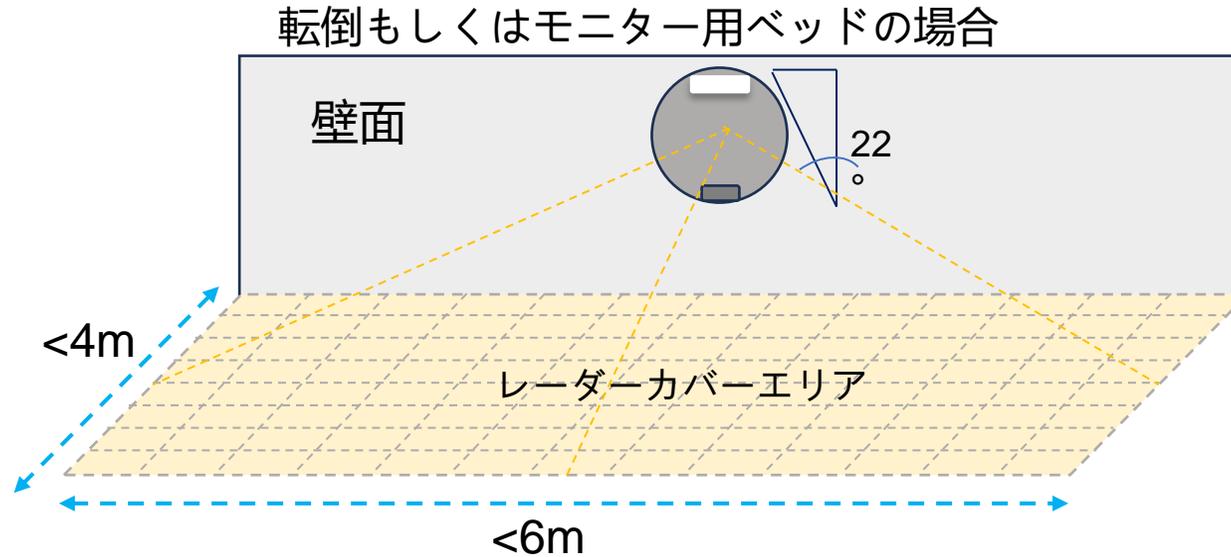
ミリ波機器を天井に設置する場合は、カバーエリアは6m以内、幅は4m以内の長方形となります。

ミリ波機器を壁面に設置する場合は、カバーエリアは8m以内、幅は6m以内の長方形となります。

## 👉 ヒント

レーダーのカバーエリアは、ユーザーがWebサイトまたはスマホのアプリで設定する事ができます。

## 説明: レーダーのカバー・エリア (2/2)



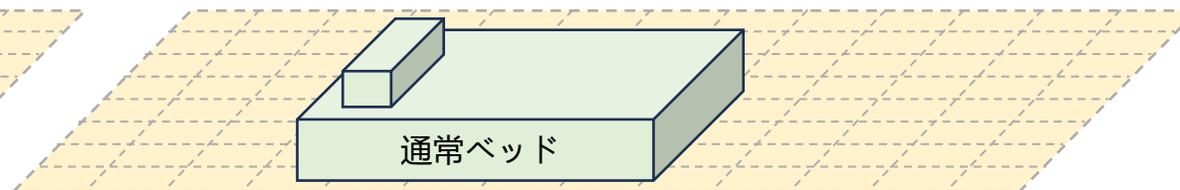
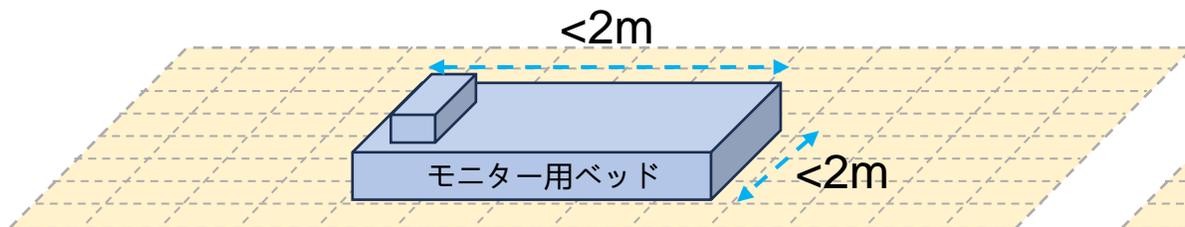
### ⚠ 注意

ミリ波監視装置が部屋の壁面に設置する場合は、カバーエリアの横幅は6m以内、縦幅は4m以内になります

### 👉 ヒント

レーダーカバーエリアはユーザーがWebサイトまたはアプリで変更することができます

# 説明: モニター用ベッドと通常ベッド



**警告**

天井への取り付けの場合、ミリ波レーダーはモニター用ベッドの中心に配置することが望ましく、モニター用ベッドの中心から0.5メートルずれることが許容されます。



**注意**

通常ベッドの位置は必ずしもレーダーの真下にある必要はありませんが、レーダーのカバレッジエリア内にある事。

壁面への取り付けの場合、ミリ波レーダーは、モニター用ベッドのレーダー側、ベッドの端の中央に配置するのが最適で、0.5mのずれは許容されます。



**注意**

モニター用ベッドは長さ2m以内、幅は2m以内であること。



**注意**

通常ベッドの長さや幅については特に制限はありません。



**ヒント**

ユーザーはウェブインターフェースを通じてベッドを設定できます。ベッドの設置位置や大きさからモニタリングベッドか通常ベッドかを自動で識別します。

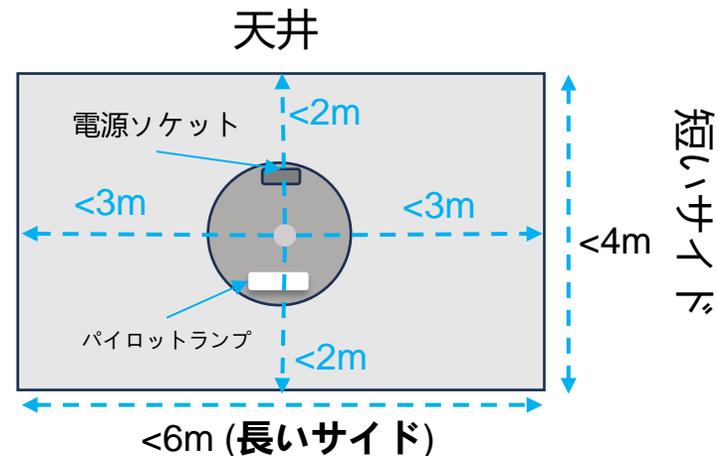
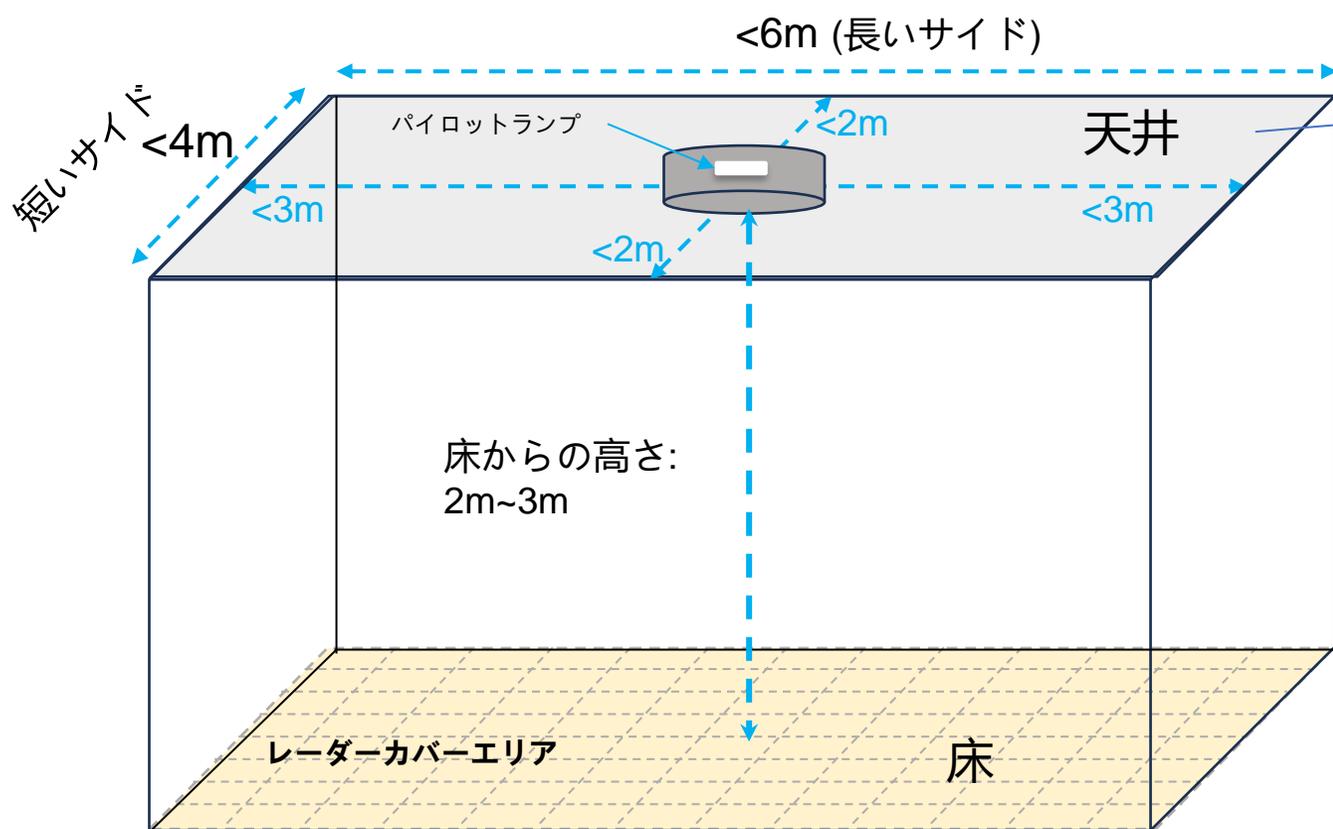
# 目次

## ■インストールレーション マニュアル

- 説明
- 天井への取り付け (モニター用ベッドなし)
- 天井への取り付け (大きな部屋用)
- 天井への取り付け (モニター用ベッドあり)
- 天井への取り付け (通常ベッド)
- 壁面への取り付け (人数のみを監視)
- 壁面への取り付け (モニター用ベッドあり)
- 壁面への取り付け (通常ベッド)
- 取り付けの方法
- デバイスのWiFi接続を設定します

## ■ユーザー マニュアル

# 天井への取り付け（モニター用ベッドなし）（1/2）



- ⚠ 注意 ミリ波装置のパイロットランプがある方向が短いサイドになります
- ⚠ 注意 ミリ波装置は部屋の中心に設置するのがベストです。
- ⚠ 注意 短いサイドの半径は2m以下です。長いサイドの半径は3m以下です。

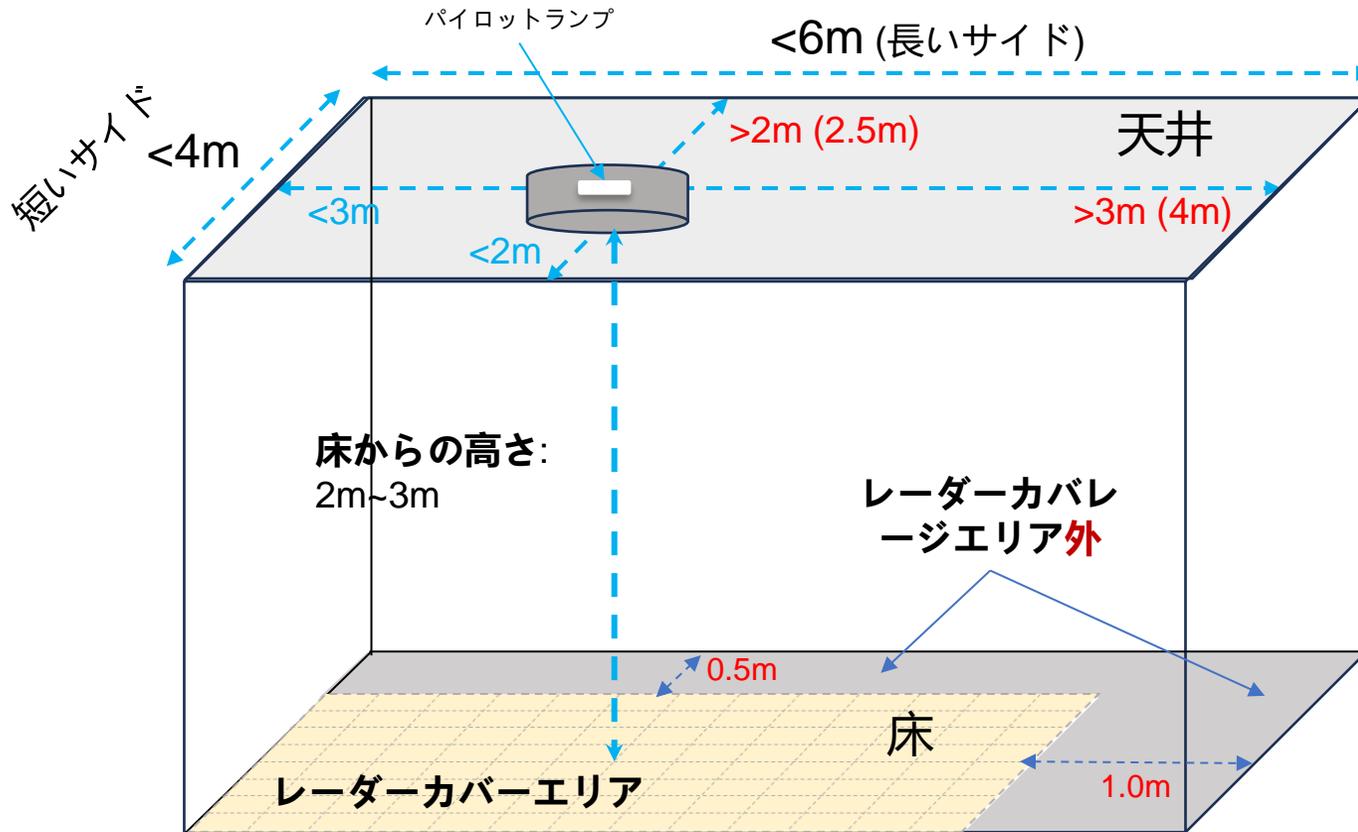


**警告**

天井への設置の際、ミリ波装置はできるだけ床面に対して0°で水平にして下さい。もしくは天井面に対して0°で水平に保って下さい。

# 天井への取り付け（モニター用ベッドなし）（2/2）

- もしミリ波装置が部屋の中央に設置できない場合、レーダーがカバー出来ないエリアが出来てしまいます。



## ⚠ 注意

ミリ波装置のパイロットランプがある方向が短いサイドになります

## ⚠ 警告

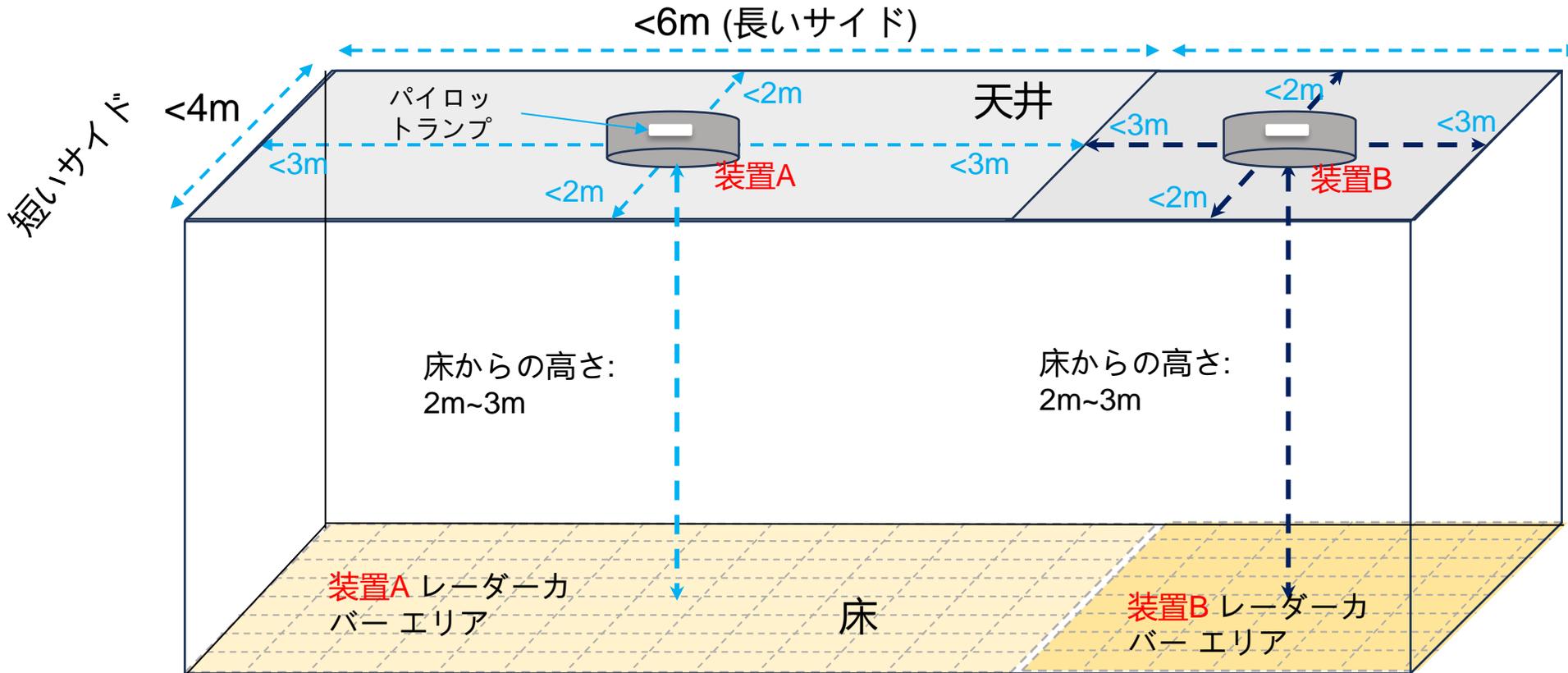
ミリ波装置のレーダーカバーエリアからはみ出す部分が出来てしまいます

## ⚠ 警告

天井への設置の際、ミリ波装置はできるだけ床面に対して  $0^\circ$  で水平にして下さい。もしくは天井面に対して  $0^\circ$  で水平に保って下さい。

# 大きな部屋の天井に取り付ける

- もし部屋のサイズが4m\*6mを超える場合, 2個のミリ波装置を取付けます



## ⚠ 注意

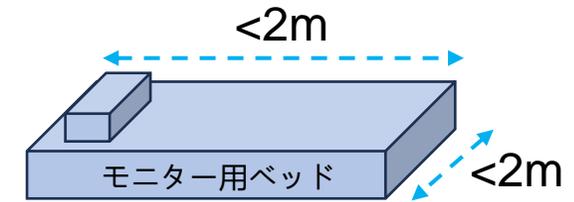
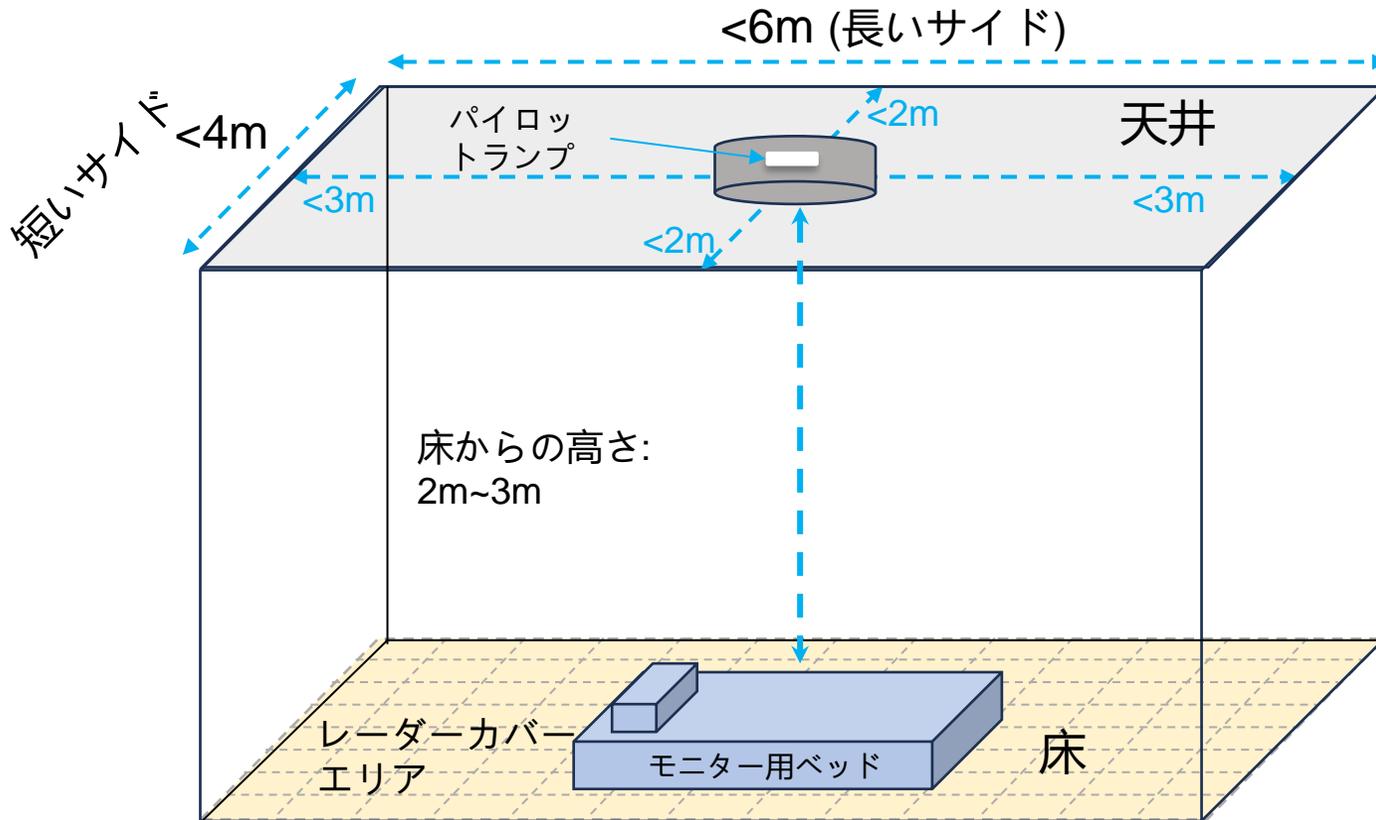
ミリ波装置のパイロットランプがある方向が短いサイドになります

## ⚠ 警告

天井への設置の際、ミリ波装置はできるだけ床面に対して0°で水平にして下さい。もしくは天井面に対して0°で水平に保って下さい。

# 天井への取り付け（モニター用ベッドあり）（1/2）

- ミリ波レーダはモニター用ベッドの中心に設置することが好ましく、モニター用ベッドの中心から0.5メートルのずれは許容される。



⚠ 注意

モニター用ベッドは長さ2m以内、幅は2m以内であること。

⚠ 警告

ミリ波レーダはモニター用ベッドの中心に配置することが望ましく、モニター用ベッドの中心から0.5メートルずれることが許容されます。

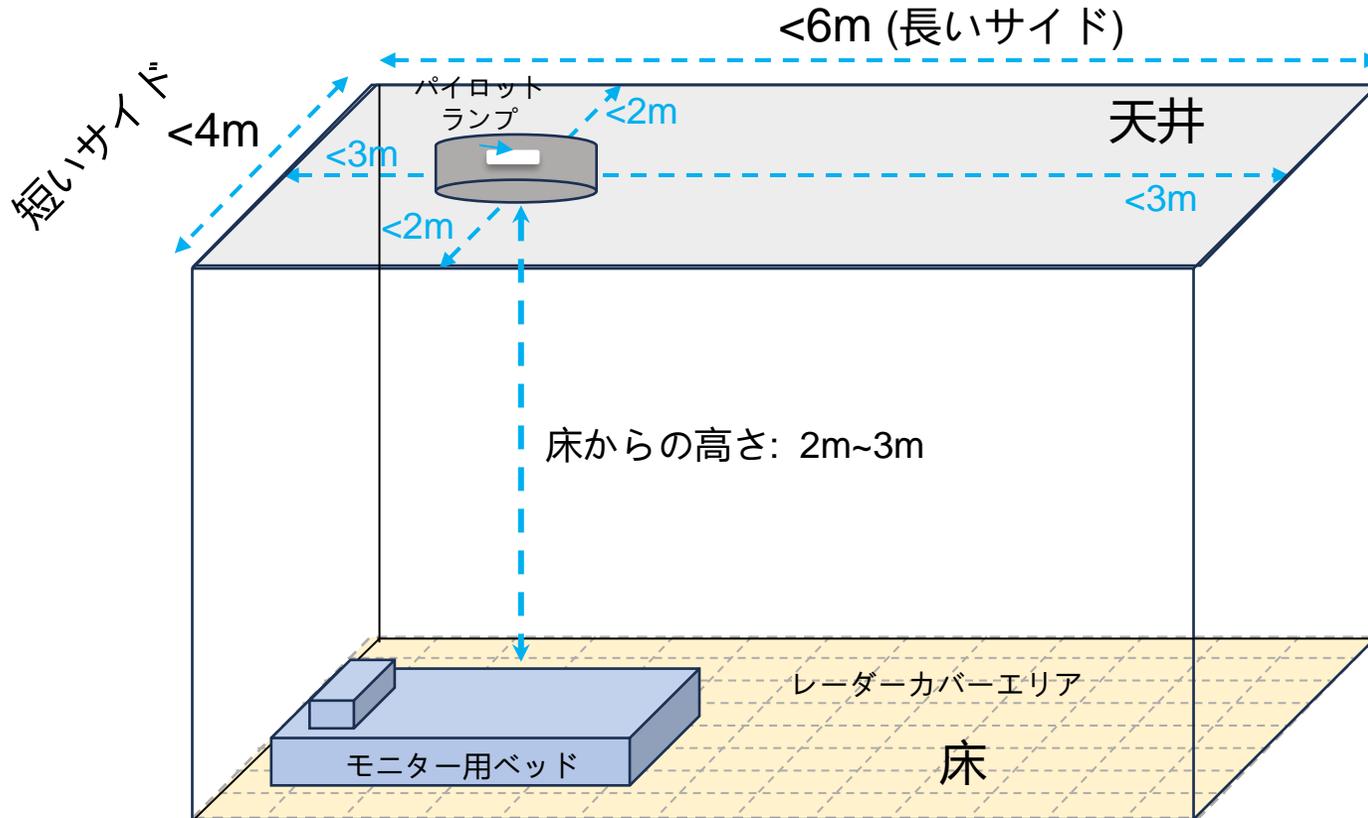
床からの高さは2~3mが望ましい。

⚠ 警告

天井への設置の際、ミリ波装置はできるだけ床面に対して $0^\circ$ で水平にして下さい。もしくは天井面に対して $0^\circ$ で水平に保って下さい。

# 天井への取り付け（モニター用ベッドあり）（2/2）

- ミリ波デバイスを部屋の中心に設置できない場合は、モニター用ベッドの中心から 0.5 メートルのオフセットを許容して、モニター用ベッドの中心に設置するのが最適です。



## ⚠ 注意

モニター用ベッドは長さ2m以内、幅は2m以内であること。

## ⚠ 警告

ミリ波レーダーはモニター用ベッドの中心に配置することが望ましく、モニター用ベッドの中心から 0.5 メートルずれることが許容されます。

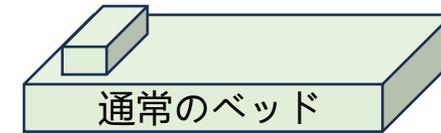
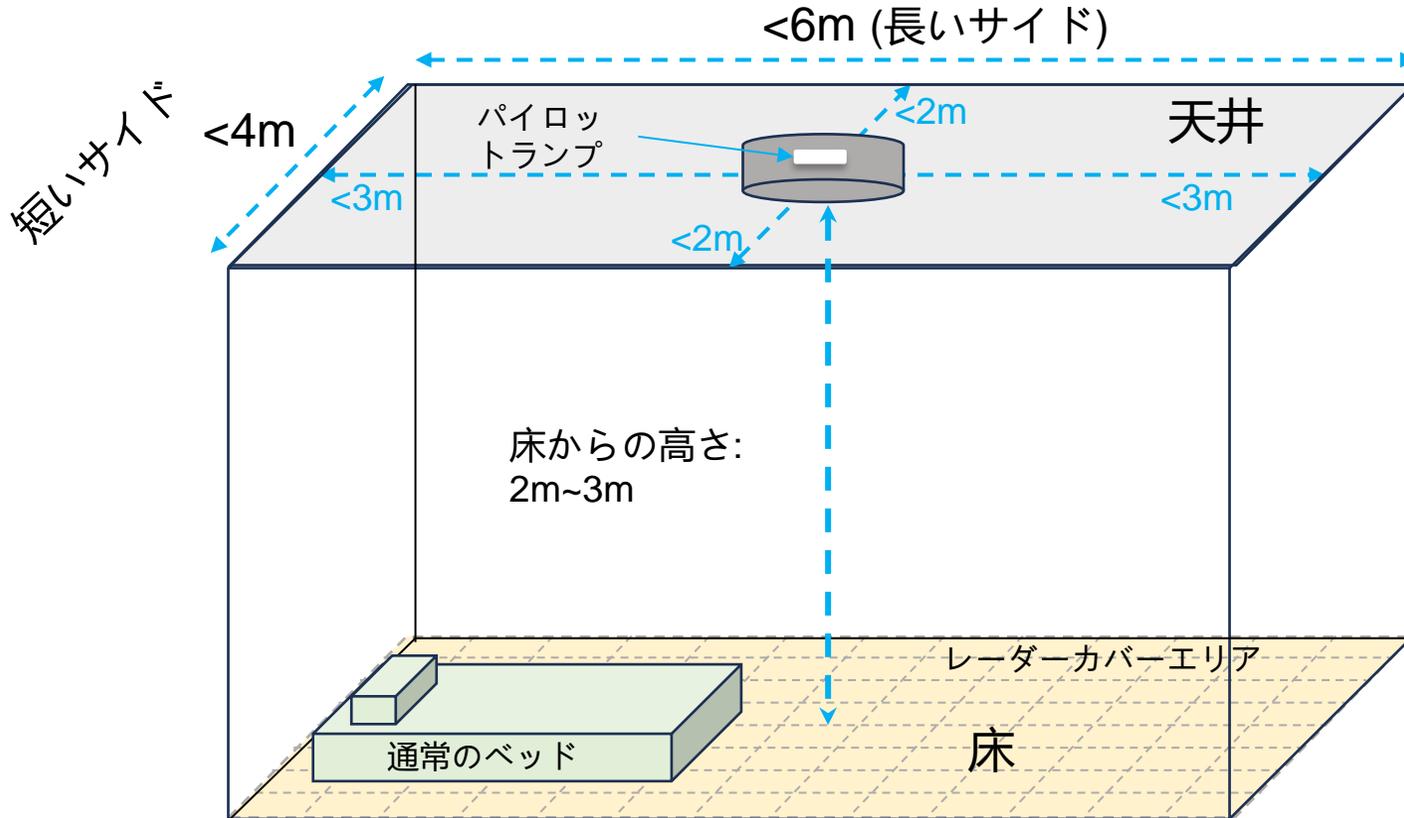
床からの高さは2~3mが望ましい。

## ⚠ 警告

天井への設置の際、ミリ波装置はできるだけ床面に対して 0°で水平にして下さい。もしくは天井面に対して0°で水平に保って下さい。

# 天井への取付け (通常ベッド)

- ミリ波装置は部屋の中心に設置するのがベストです



## ⚠ 注意

通常ベッドの長さや幅については特に制限はありません。

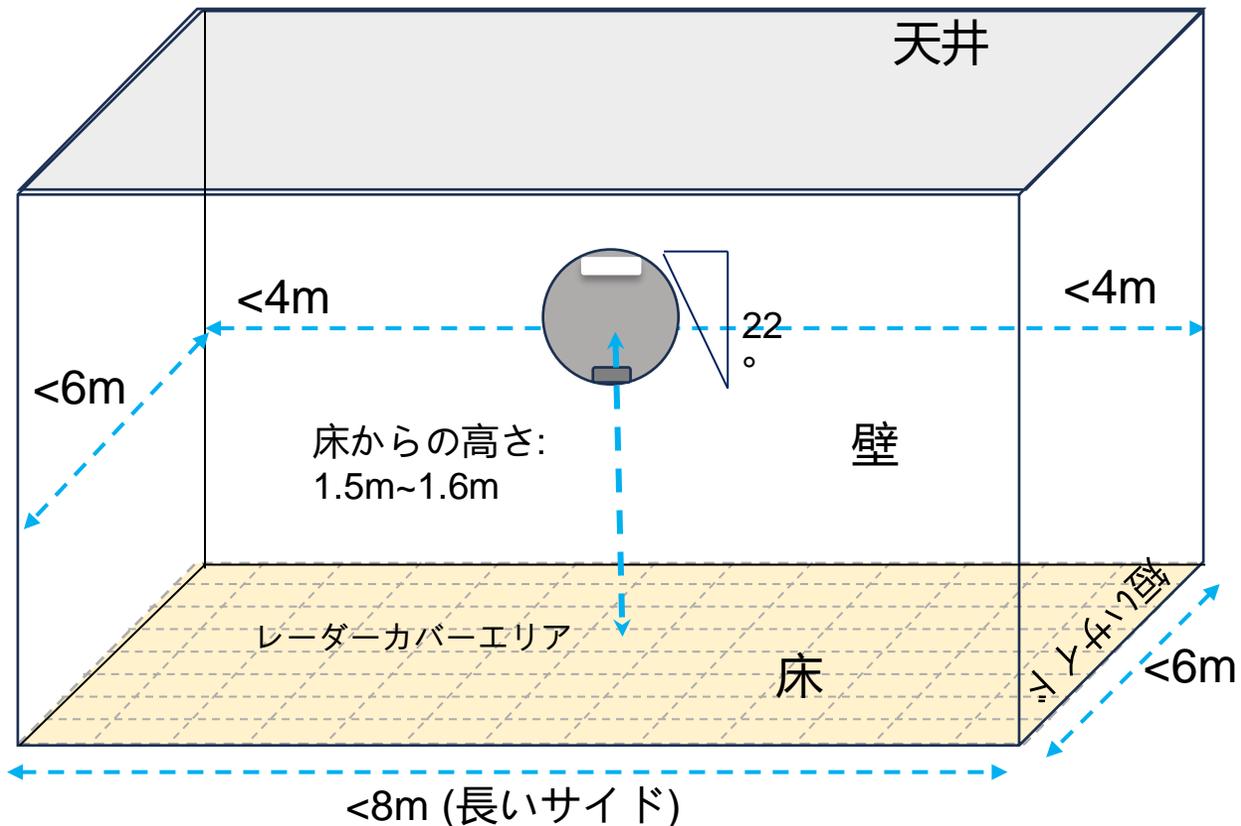
## ⚠ 注意

通常ベッドの位置は必ずしもレーダーの真下にある必要はありませんが、レーダーのカバーエリア内にあること。

## ⚠ 警告

天井への設置の際、ミリ波装置はできるだけ床面に対して0°で水平にして下さい。もしくは天井面に対して0°で水平に保って下さい

# 壁面への取り付け（人数のみを監視）



⚠ 注意

装置は部屋の長いサイドに取付けるのが良い

⚠ 注意

人数のカウントの場合は、短いサイドの長さは6m以下。長いサイドの半径は4m以下

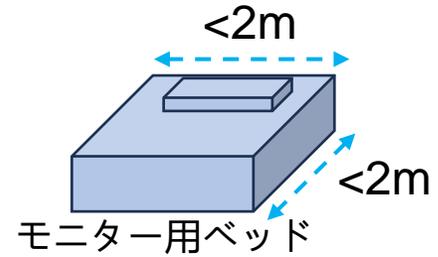
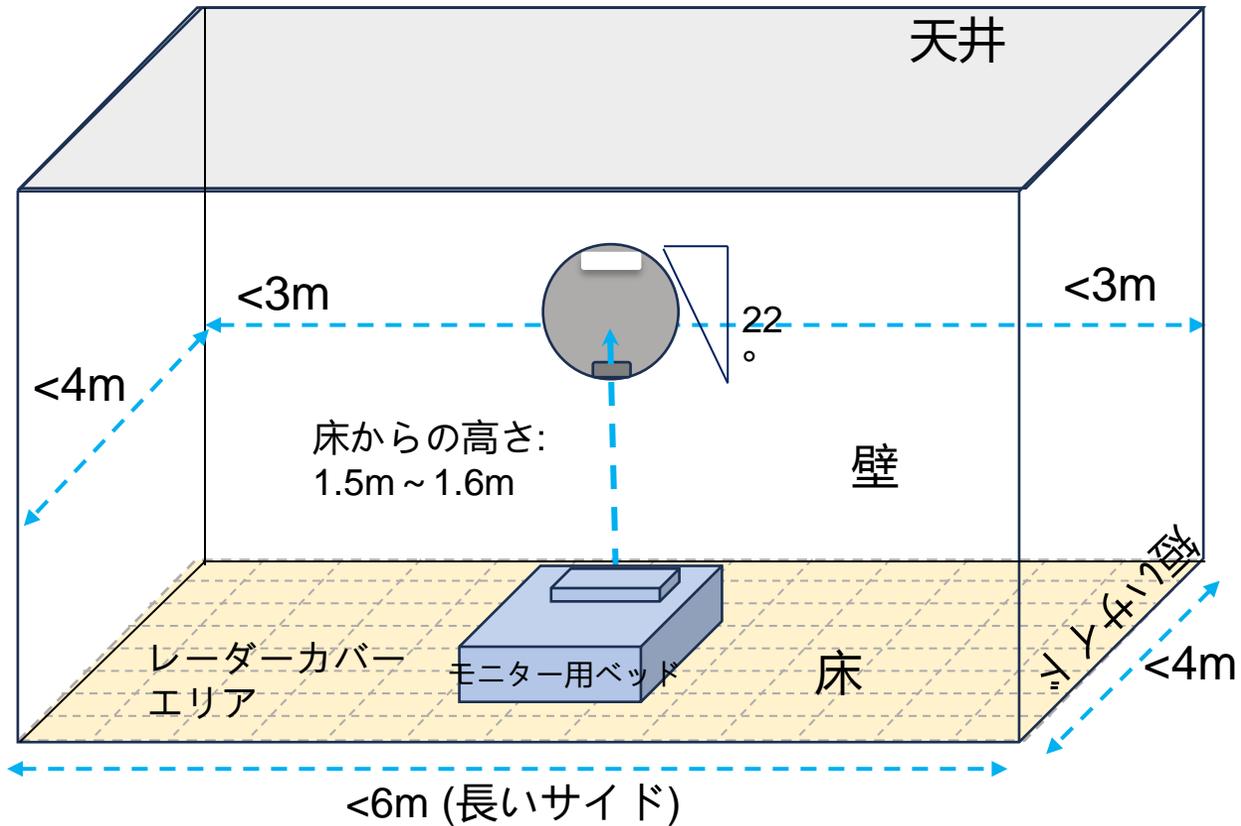
⚠ 注意

転倒の監視もしくはモニター用ベッドの場合は、短いサイドの長さは4m以下。長いサイドの半径は3m以下

⚠ 警告

壁面への取付けの際は、「壁面取付けブラケット」（22°の傾斜付き）を使用してください

# 壁面への取り付け（モニター用ベッドあり）（1/2）



⚠ 注意

モニター用ベッドは長さ2m以内、幅は2m以内であること。

⚠ 注意

ミリ波装置は長いサイドの壁の中心に設置するのがベストです。

⚠ 警告

ミリ波レーダーは、モニター用ベッドのレーダー側、ベッドの端の中央に配置するのが最適で、0.5mのずれは許容されます。

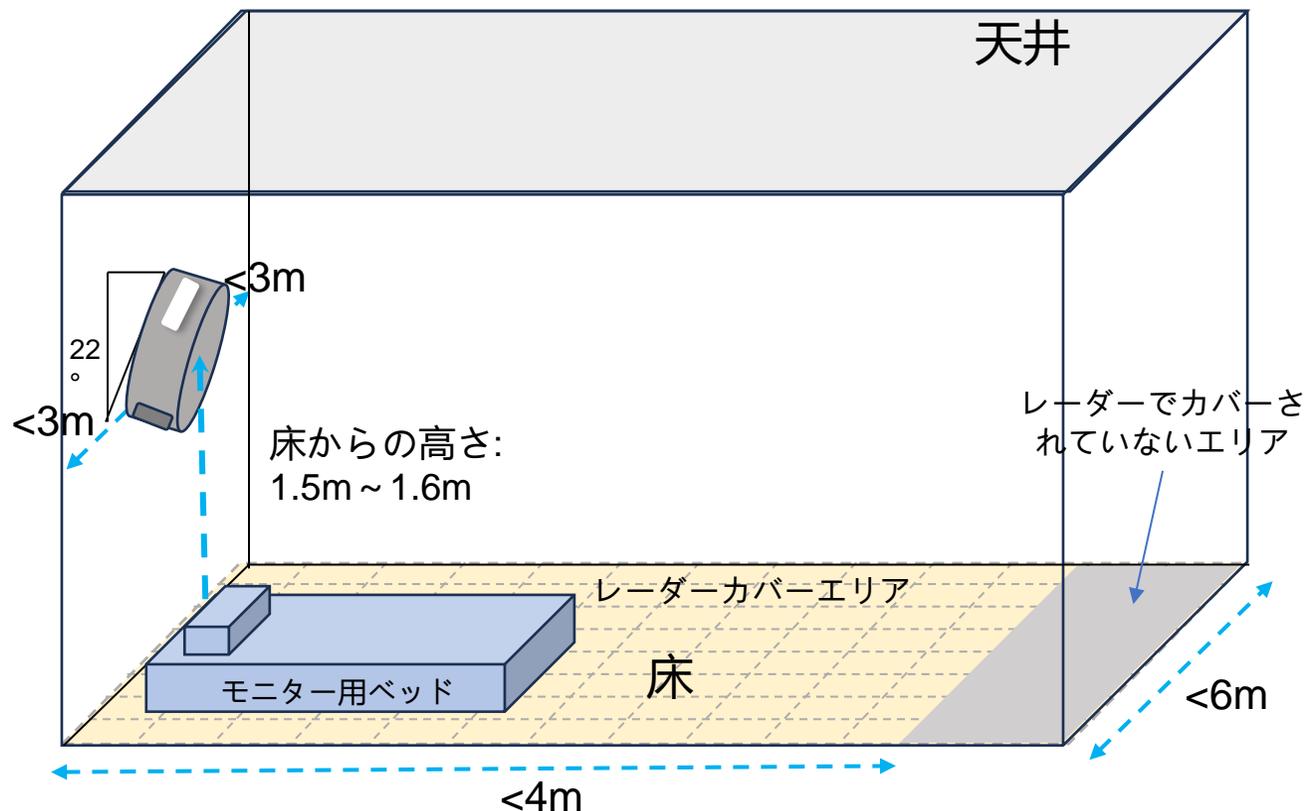
床からの高さは1.5m~1.6m以内。

⚠ 警告

壁面への取付けの際は、必ず「壁面取付けブラケット」（22°の傾斜付き）を使用してください

## 壁面への取り付け（モニター用ベッドあり）（2/2）

- ミリ波デバイスを長い壁面への取り付け置できない場合は、ミリ波レーダーは、モニター用ベッドのレーダー側、ベッドの端の中央に配置するのが最適で、0.5mのずれは許容されます。



**注意**

モニター用ベッドは長さ2m以内、幅は2m以内であること。



**警告**

ミリ波レーダーは、モニター用ベッドのレーダー側、ベッドの端の中央に配置するのが最適で、0.5mのずれは許容されます。

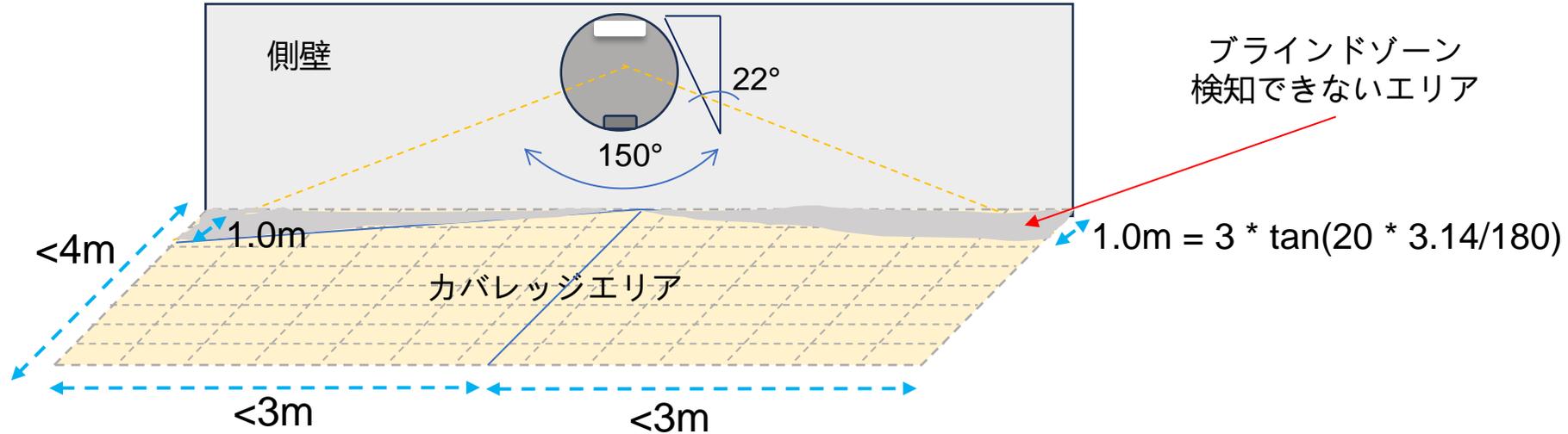
床からの高さは1.5m~1.6m以内



**警告**

壁面への取付けの際は、必ず「壁面取付けブラケット」（22°の傾斜付き）を使用してください

## 注意: 側壁取付けの場合は、ブラインドゾーンができます

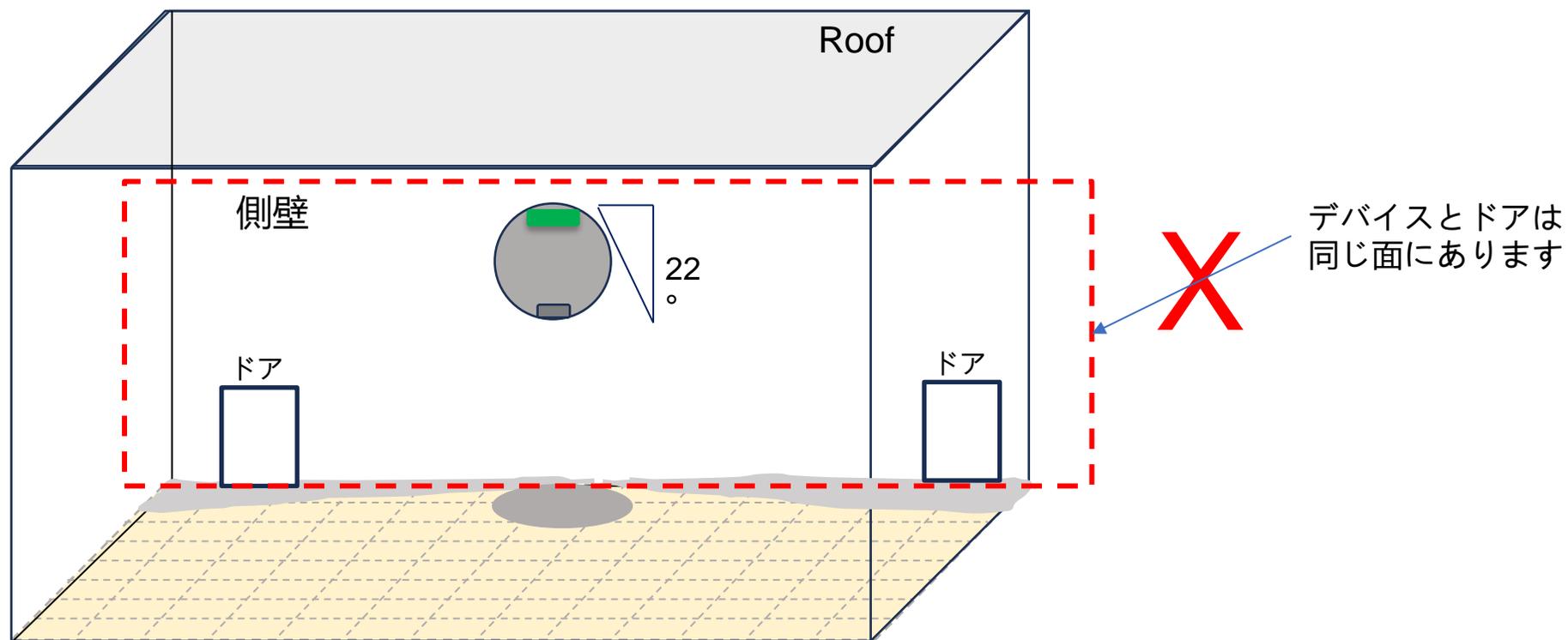


- 側壁取付けの場合、レーダーカバレッジの水平角度が150°であるため、公式  $L = D * \text{TAN}(20 * 3.14 / 180)$  に従って、床の灰色で表示される部分つまりL範囲内がカバーできません。
- 天井取付けの場合はレーダーカバレッジブラインドゾーンがありません。したがって、側壁より**天井への取付けをお勧めします**。

## 注意: デバイスとドアの位置

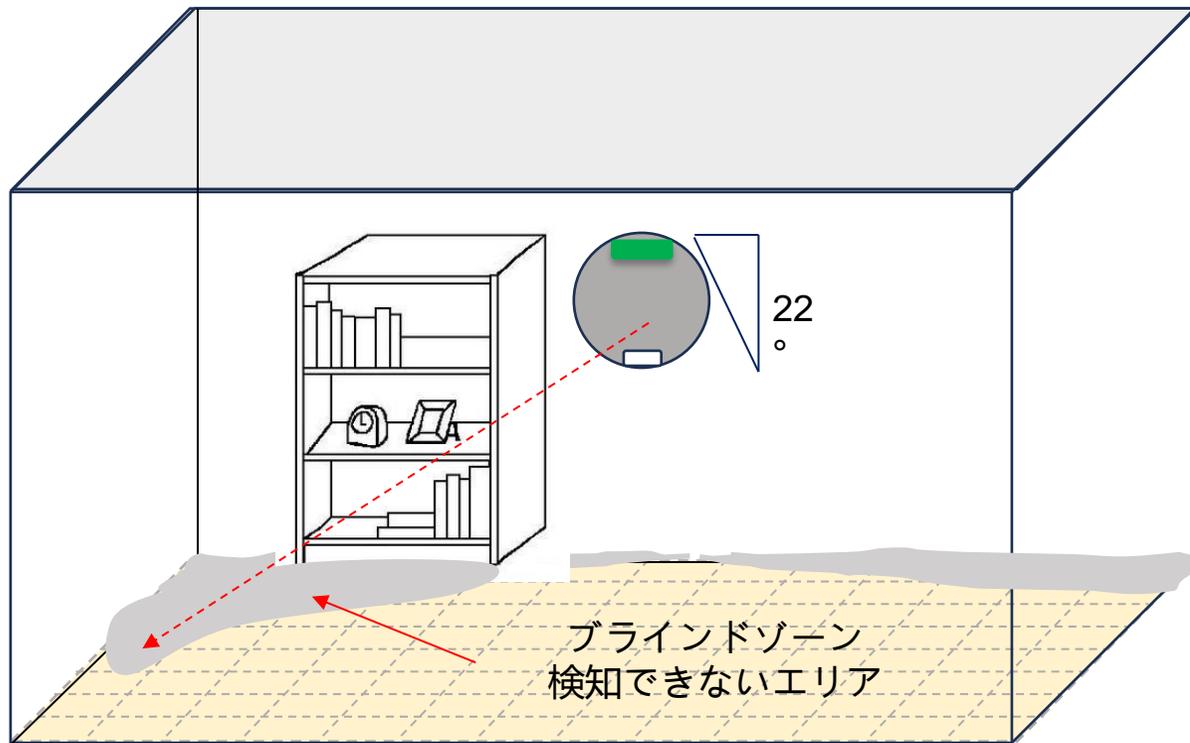
○  
デバイスの投影  
ポイント

- 側壁取付けの場合、デバイスをドアと同じ面に設置しないでください

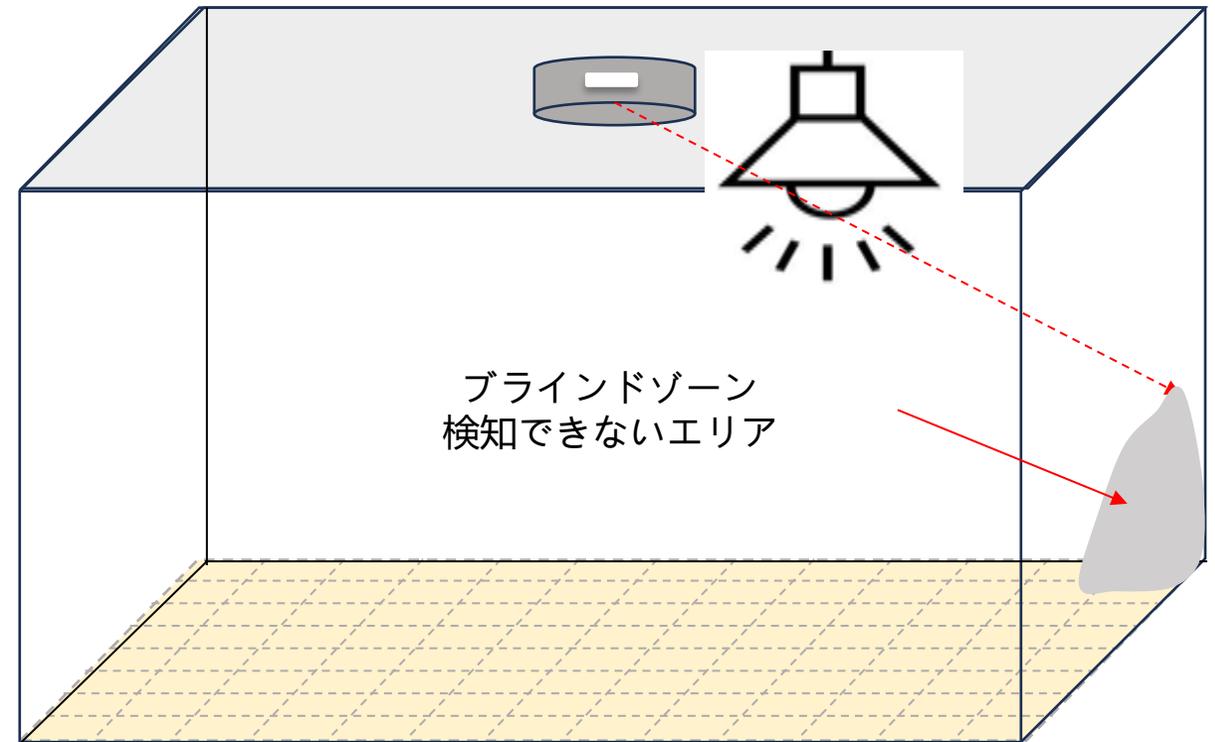


## 注意: 装置の周囲に障害物がないようにしてください。

側壁に取り付ける場合は、本棚など大きな物の近くに設置しないでください。



デバイスは 10cm を超えて物体に近づきすぎないようにしてください。物体から 0.7m 離れた位置に置くのが最善です。



# 設置方法 (1/4)

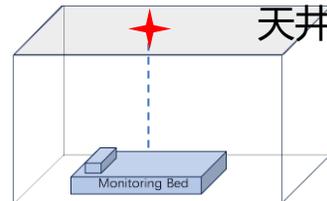
## 天井への設置

### ➤ Step 1: ブラケットを用意する



### ➤ Step 2:

- ✓ 踏み台 もしくは スツールに乗る
- ✓ 天井の中心を選ぶ
- ✓ もしくはモニター用ベッドの中心の真上を選ぶ
- ✓ 鉛筆でマークする.



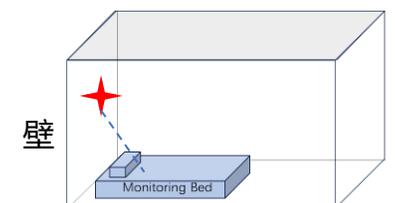
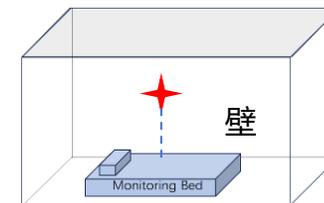
## 壁面への設置

### ➤ Step 1: ブラケットを用意する



### ➤ Step 2:

- ✓ 壁面の中心を選ぶ
- ✓ もしくはモニター用ベッドの中心から壁面を選ぶ
- ✓ 鉛筆でマークする



# 設置方法 (2/4)

## 天井への設置

- Step 3: ブラケットの底についている3M接着剤のフィルムを剥がす



ブラケットの底面

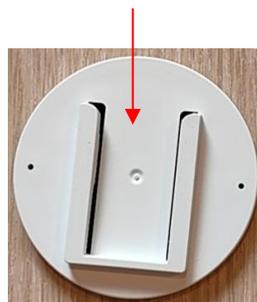
- Step 4: ブラケットの底面を天井のマークしたところに貼る

⚠ 注意

パイロットランプの位置に注意

⚠ 警告

パイロットランプがある方向が部屋の短いサイドになります



ブラケットの表面

## 壁面への設置

- Step 3: ブラケットの底についている3M接着剤のフィルムを剥がす



ブラケットの底面

- Step 4: ブラケットの底面を壁面のマークしたところに貼る

⚠ 注意

パイロットランプの位置に注意

⚠ 警告

パイロットランプがある方向を上向きにします



ブラケットの表面

# 設置方法 (3/4)

## 天井への設置

- Step 5: ブラケットにミリ波装置を差し込む



ミリ波装置



ブラケットの表面

- Step 6: 床からミリ波装置の高さを測ります。  
(誤差が5cmを超えない範囲で)



測定した高さをメモしておいてください

## 壁面への設置

- Step 5: ブラケットにミリ波装置を差し込む



ミリ波装置



ブラケットの表面

- Step 6: 床からミリ波装置の高さを測ります。  
(誤差が5cmを超えない範囲で)



測定した高さをメモしておいてください

# 設置方法 (4/4)

## 天井への設置

- **Step 7: 電源ケーブルをつなぐ** (電源ケーブルの長さは最大6m)



**警告**

装置のUSB Type-C差込口にコードを差し込む。USBケーブルを電源アダプタに差し込む。

- **Step 8: アダプタを電源に差し込み、ミリ波装置に電気を送り込む**

## 壁面への設置

- **Step 7: 電源ケーブルをつなぐ** (電源ケーブルの長さは最大6m)



**警告**

装置のUSB Type-C差込口にコードを差し込む。USBケーブルを電源アダプタに差し込む。

- **Step 8: アダプタを電源に差し込み、ミリ波装置に電気を送り込む**

# 目次

## ■インストールレーション マニュアル

- 説明
- 天井への取り付け (モニター用ベッドなし)
- 天井への取り付け (大きな部屋用)
- 天井への取り付け (モニター用ベッドあり)
- 天井への取り付け (通常ベッド)
- 壁面への取り付け (人数のみを監視)
- 壁面への取り付け (モニター用ベッドあり)
- 壁面への取り付け (通常ベッド)
- 取り付けの方法
- デバイスのWiFi接続を設定します

## ■ユーザーマニュアル

# 「ALITA\_Tool」アプリをダウンロードし、デバイスのWiFi接続を設定します

iPhone(iOS)

App Storeを経由し、  
「ALITA\_Tool」をダウンロードし、  
インストールしてください。

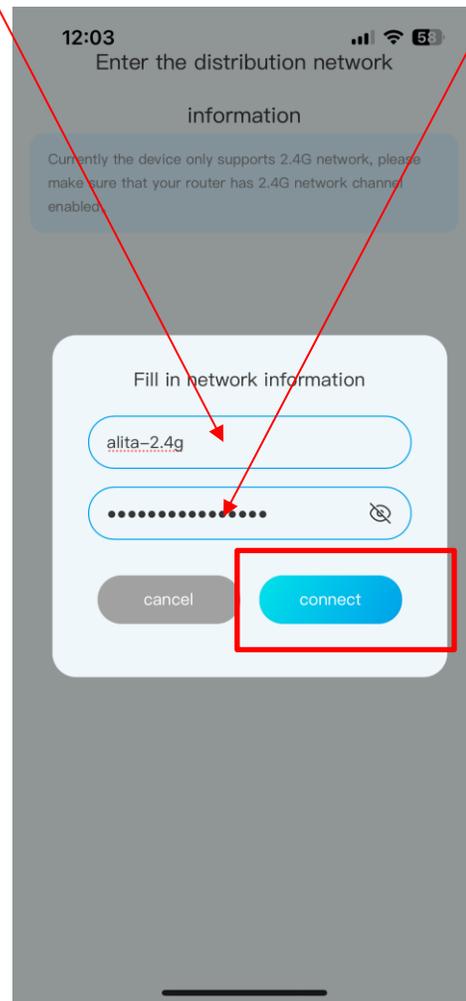
クリックして、ALITA\_Toolのアプリを開きます



# WiFi設定手順

WIFI SSID (2.4G) を  
入力してください

WIFIパスワード(2.4G)を入  
力してください。



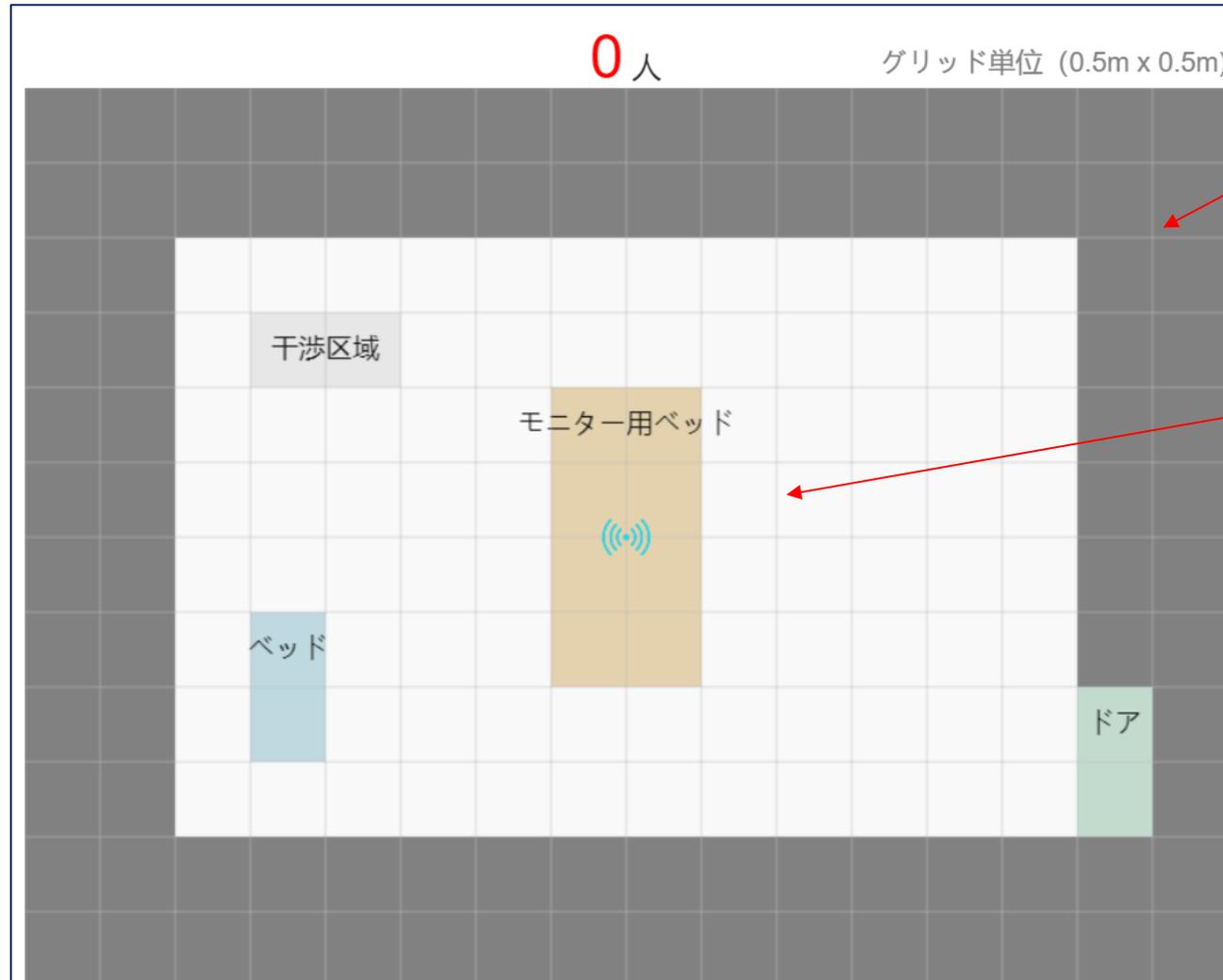
# 目次

## ■ インストレーションマニュアル

## ■ 設定マニュアル

- 説明と注意事項
- Web: Webページ (管理画面)
  - ログイン
  - レーダー構成
  - レーダー探知エリアを設定します
  - エリアの追加
  - 複数の部屋またはデバイスの設定

# 説明: モニター インターフェース



➤ ミリ波装置の最大カバー範囲

➤ ユーザーが設定できるミリ波装置のカバレッジエリア

## ⚠ 注意

■ グリッド単位 (0.5 メーター x 0.5 メーター)

□ グリッド単位 (0.5 メーター x 0.5 メーター)

# モニター用ベッド：呼吸と心拍数のモニター



**警告**

呼吸と心拍数を計測し睡眠レポートを作成するには、人は必ずモニター用ベッドの上に居なければならない。

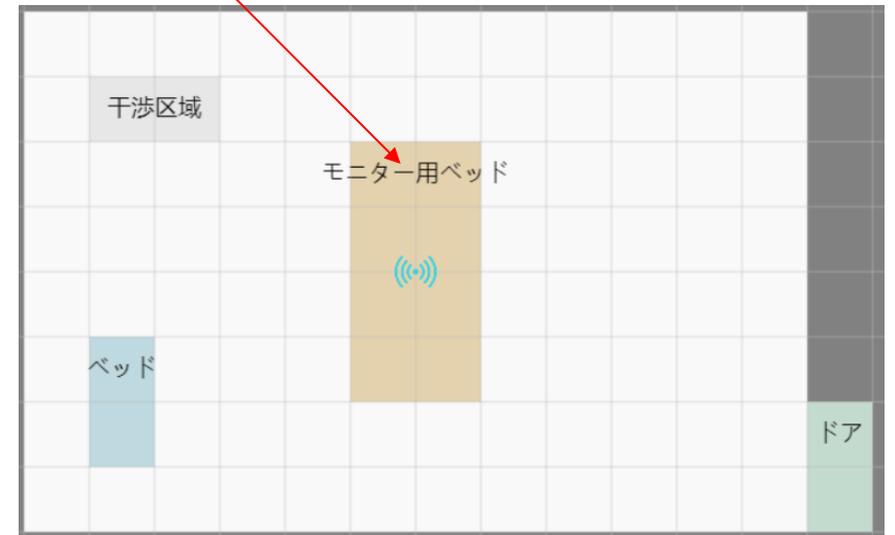


**警告**

呼吸と心拍数を計測するには、モニター用ベッド上には必ず一人でなければならない。（レーダーカバーエリア内には何人いてもかまいません）

もし2人以上がモニター用ベッド上に居た場合には、呼吸と心拍数の計測ならびに睡眠レポートの作成は出来ません。

モニター用ベッド



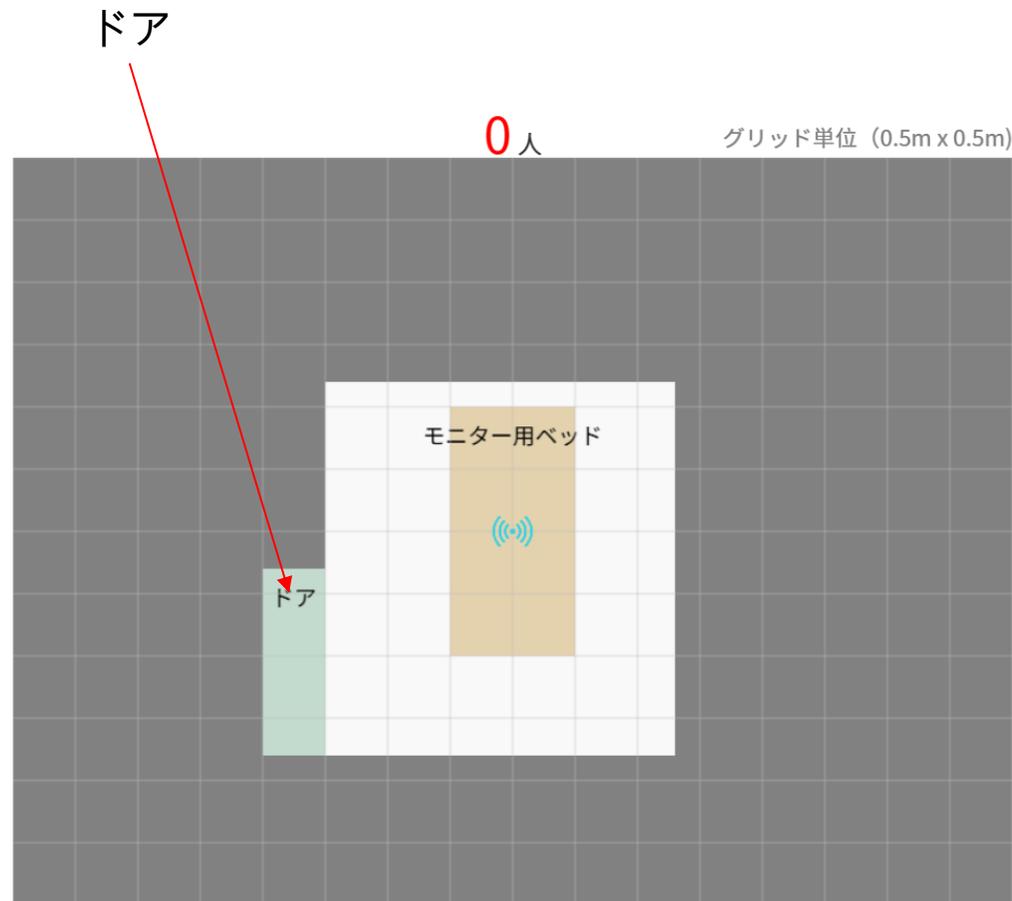
# ドア： 出入り監視（部屋への出入りのモニタリング）

## ⚠ 注意

ミリ波で設定されたカバー範囲の境界において、実際の壁や他の物体で遮られておらず、人が出入りする可能性がある場所は、必ず「ドア（門）」として設定する必要があります。。

## ⚠ 警告

「ドア」として設定しない場合、人の出入りを正確に検知できず、滞留アラームが正しく作動しない可能性があります。。



# 干渉エリア

## ⚠️ 注意

ミリ波装置は非監視エリアでは感知しません。  
例えば人が非監視エリアにいても感知されません。

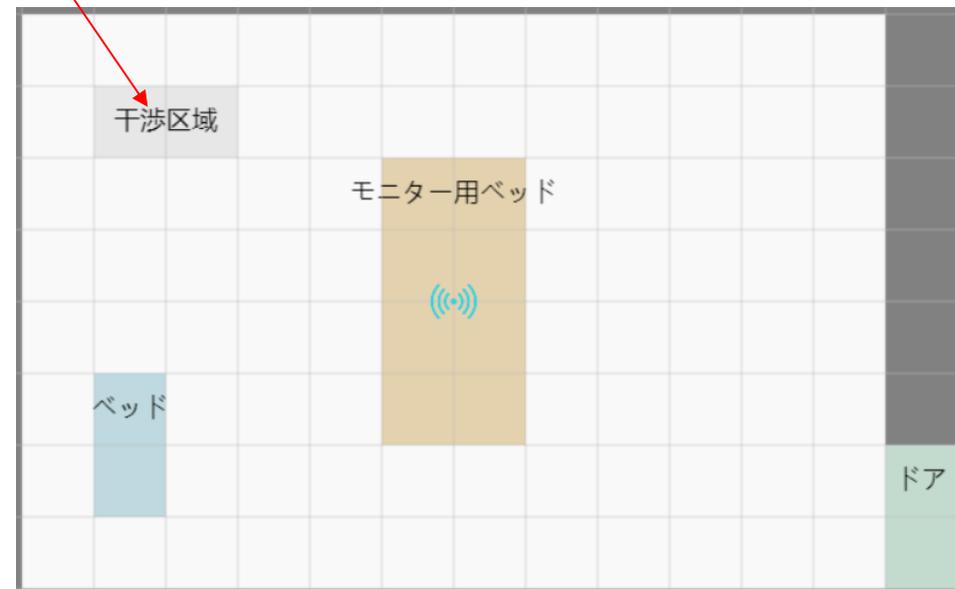
## 👉 ヒント

非監視エリアの目的は、干渉する恐れのある物体（例：ファンなど）を回避するためです。

## 👉 ヒント

非監視エリアはアプリのレーダーカバーエリアの設定からセットできます。

干渉エリア



# アラーム区域

編集エリア

ドア ベッド 干渉エリア アラーム区域 カスタマイズ

スワイプで領域を描画し、ダブルクリックで領域を削除する。

アラーム区域

モニター用ベッド

ドア

カスタマイズ

門

サイズをご記入ください

幅  CM

長さ  CM

位置調整

上 下 左 右

エリア名

取り消し

保存

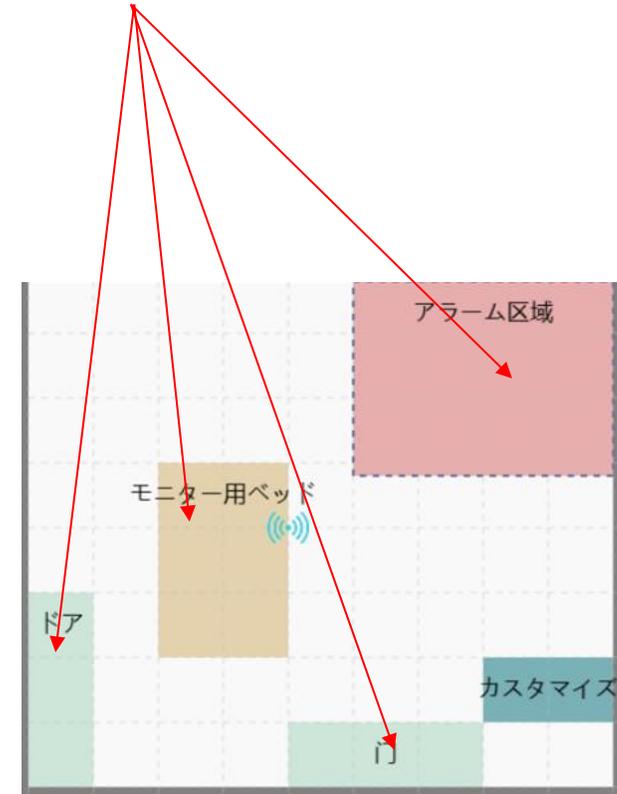
誰かがこのエリアに入ったり出たりすると、入場または退場イベントがトリガーされます

# 説明: 転倒モニター

## ⚠️ 注意

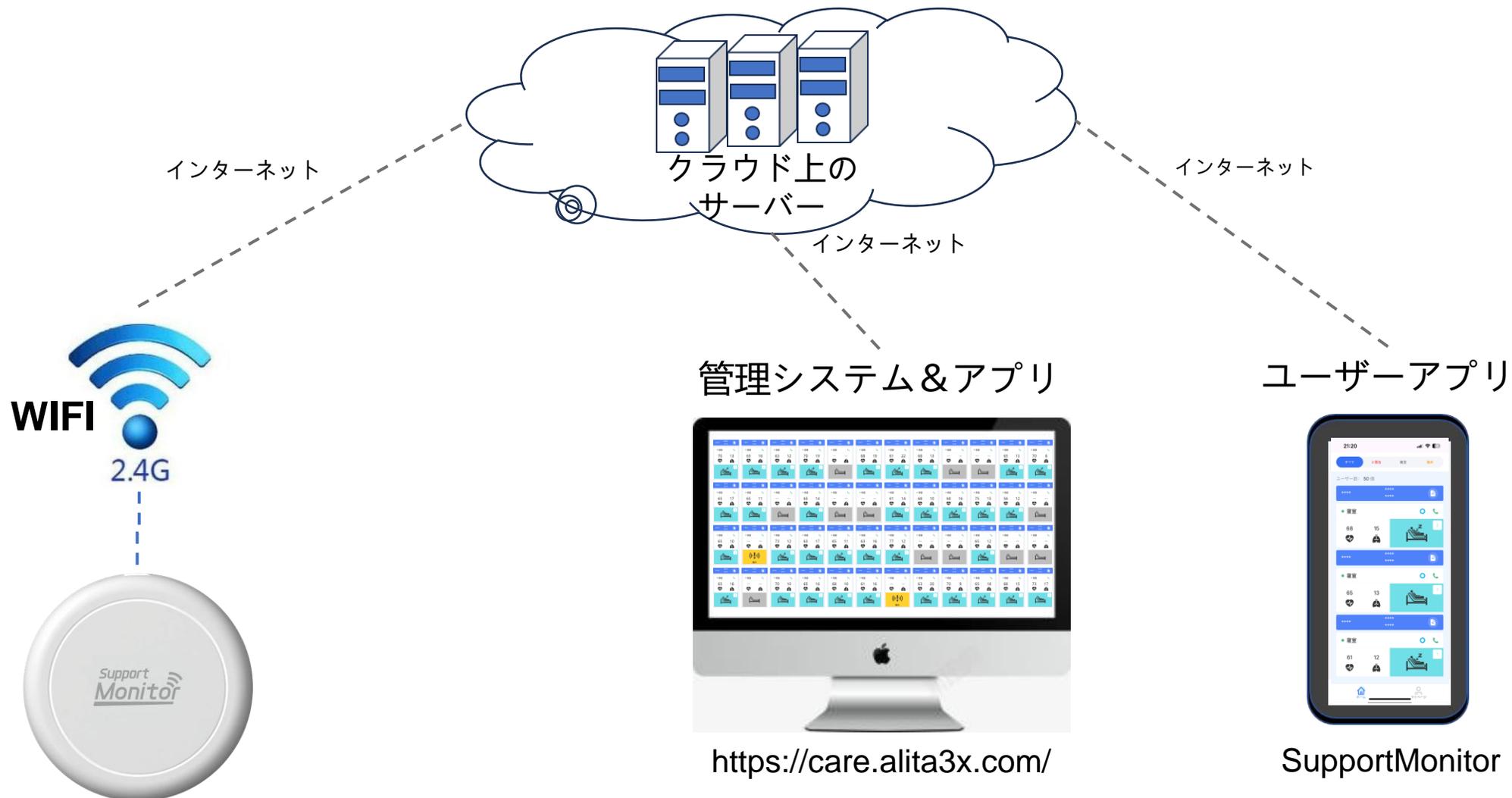
転倒は非監視エリア、モニター用ベッド、標準ベッド、ドアの上では検出されません。転倒はそれ以外のエリアで検出されます。

ここでは検出されません



# 説明: ネットワークの構築

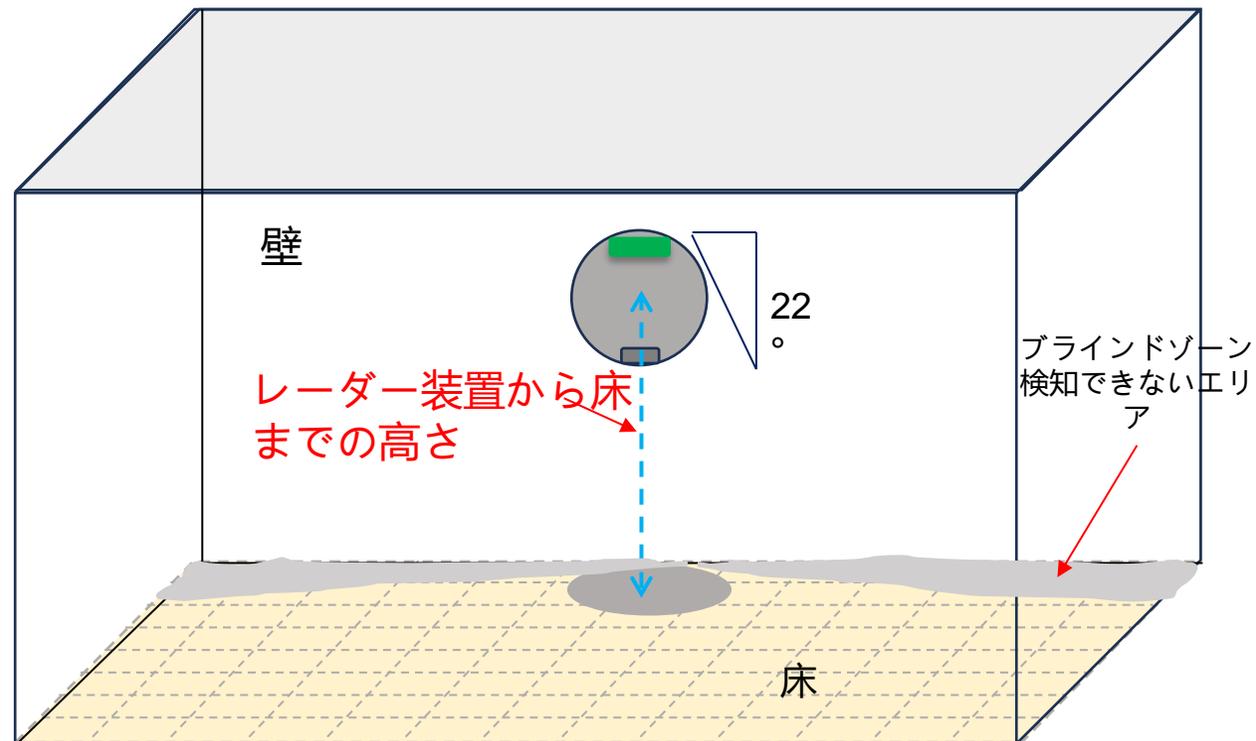
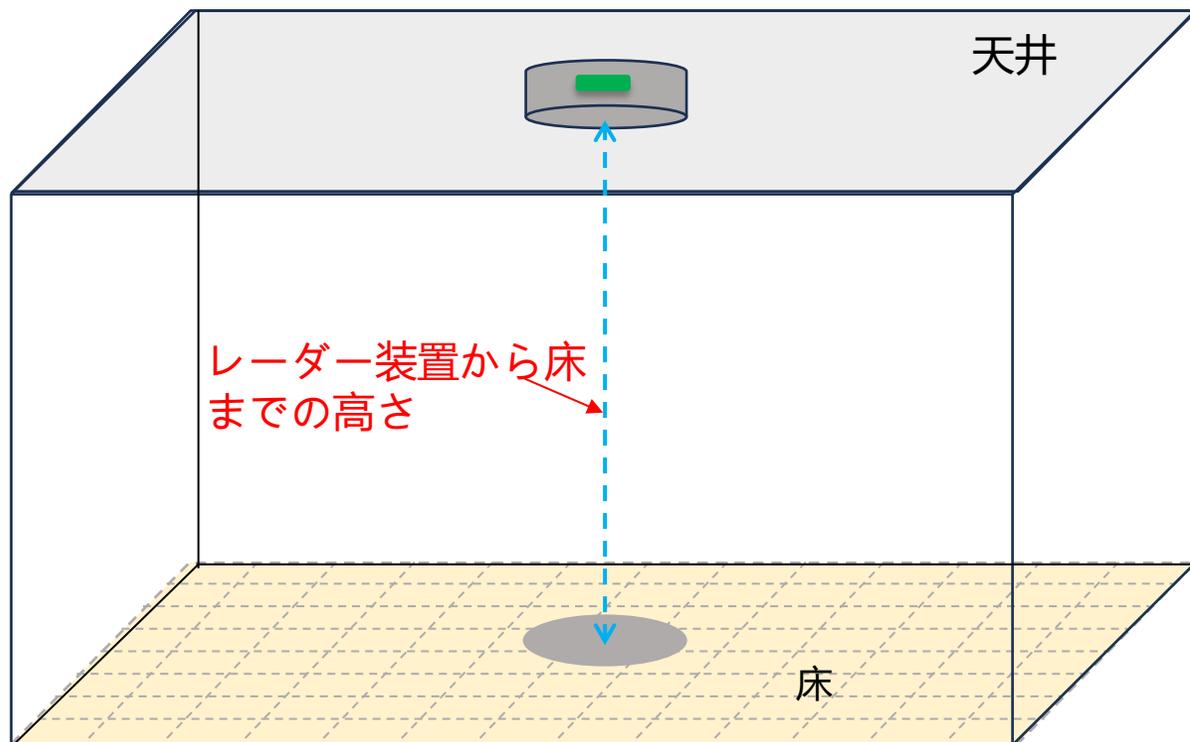
## ミリ波装置のソフトウェア・プラットフォーム



## 注意:レーダー装置から床までの高さは必ず正確に

デバイスの投  
影ポイント

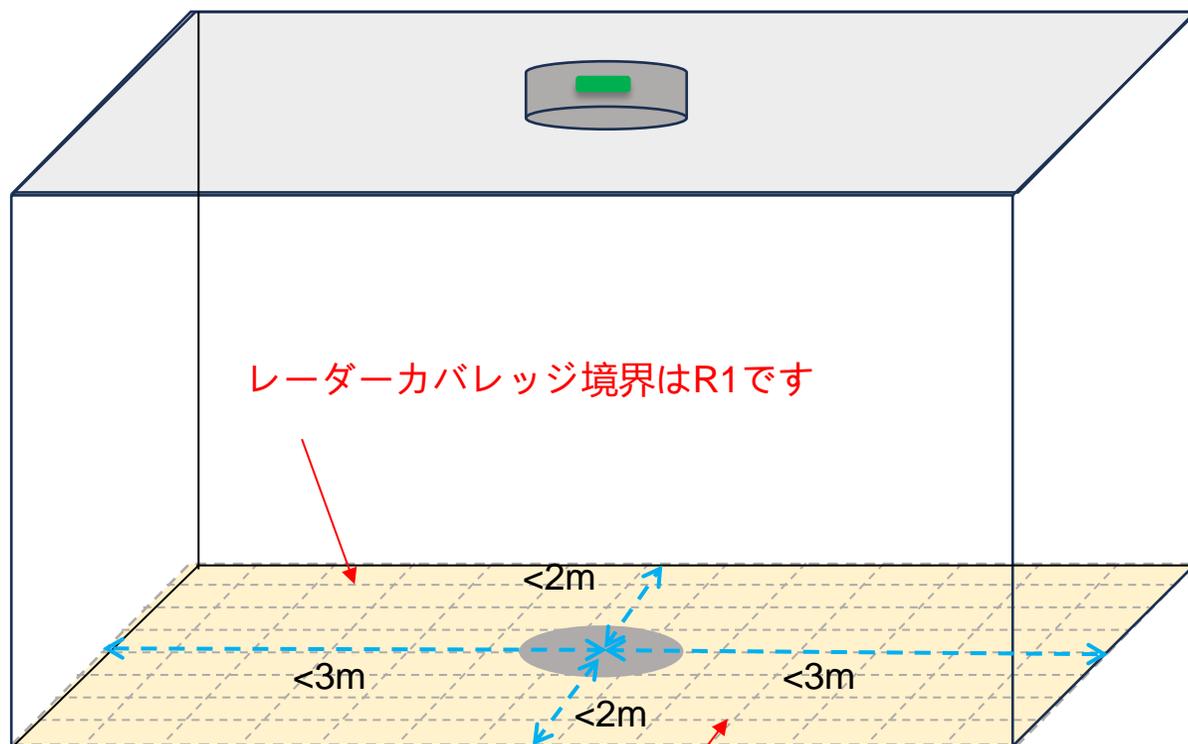
レーダー装置から床までの高さは、5cm以下の誤差で正確に測定する必要があります。このデータは、管理用ソフトのレーダー・パラメーターとして設定します



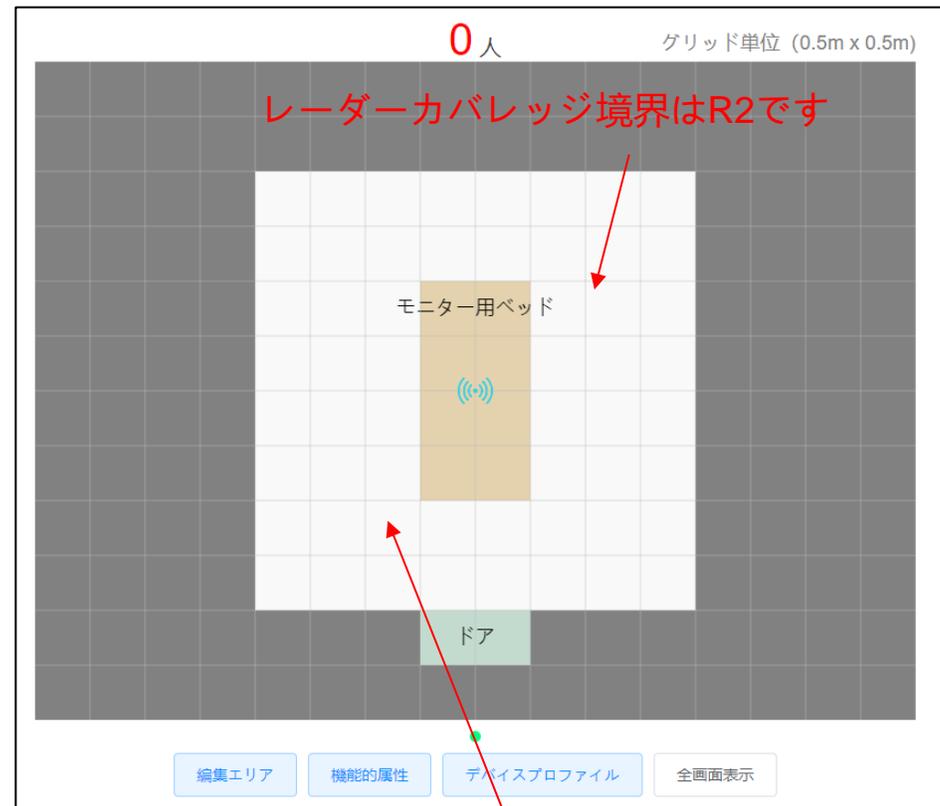
# 注意:レーダーカバレッジ境界の測定は必ず正確に(天井取付け)

デバイスの投影ポイント

レーダーカバレッジ境界R2はR1と正確に一致させる必要があります



レーダーの設置位置に基づいて、実際のレーダーカバレッジ境界を注意深く測定する必要があります

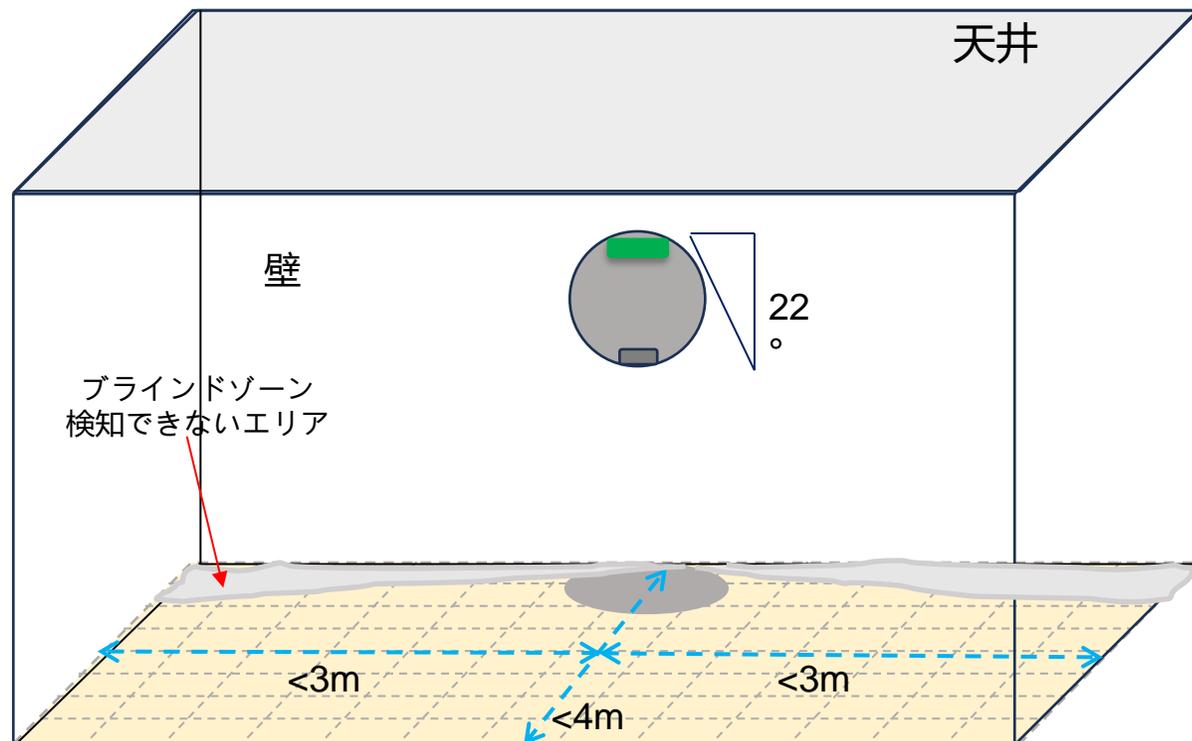


レーダーカバレッジ境界(R2)は、管理用ソフトで設定します

# 注意:レーダーカバレッジ境界の測定は必ず正確に(側壁取付け)

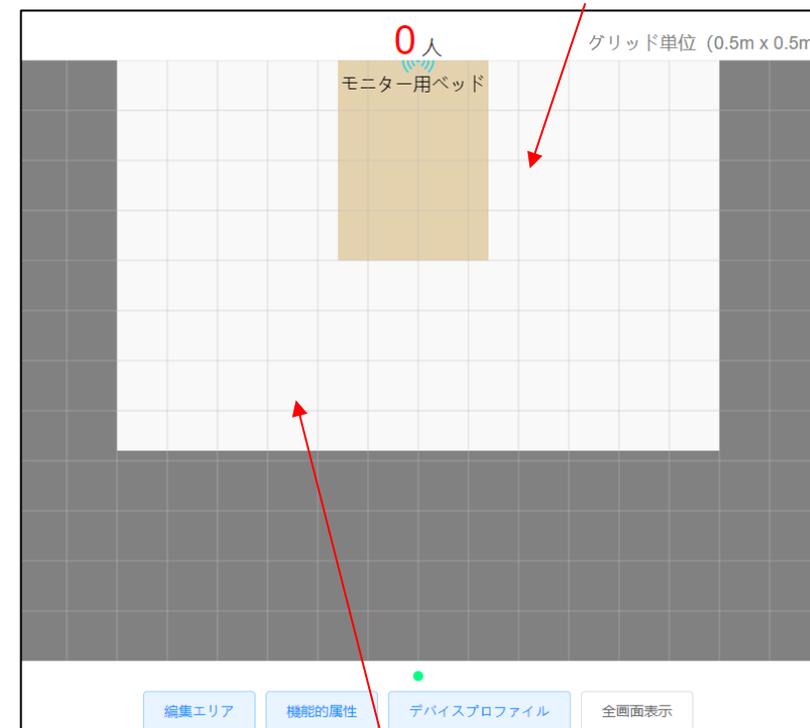
デバイスの投  
影ポイント

レーダーカバレッジ境界R2はR1と正確に一致させる必要があります



レーダーの設置位置に基づいて、実際のレーダーカバレッジ境界を注意深く測定する必要があります

レーダーカバレッジ境界はR2です

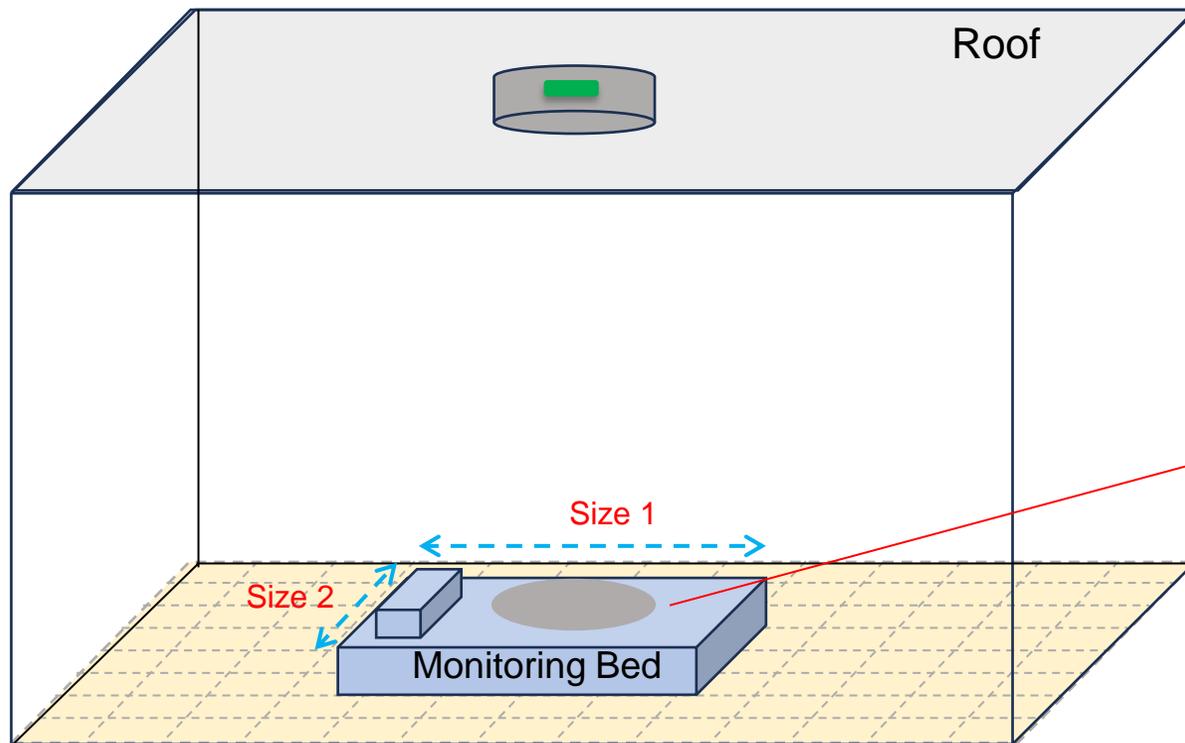


レーダーカバレッジ境界(R2)は、管理用ソフトで設定します

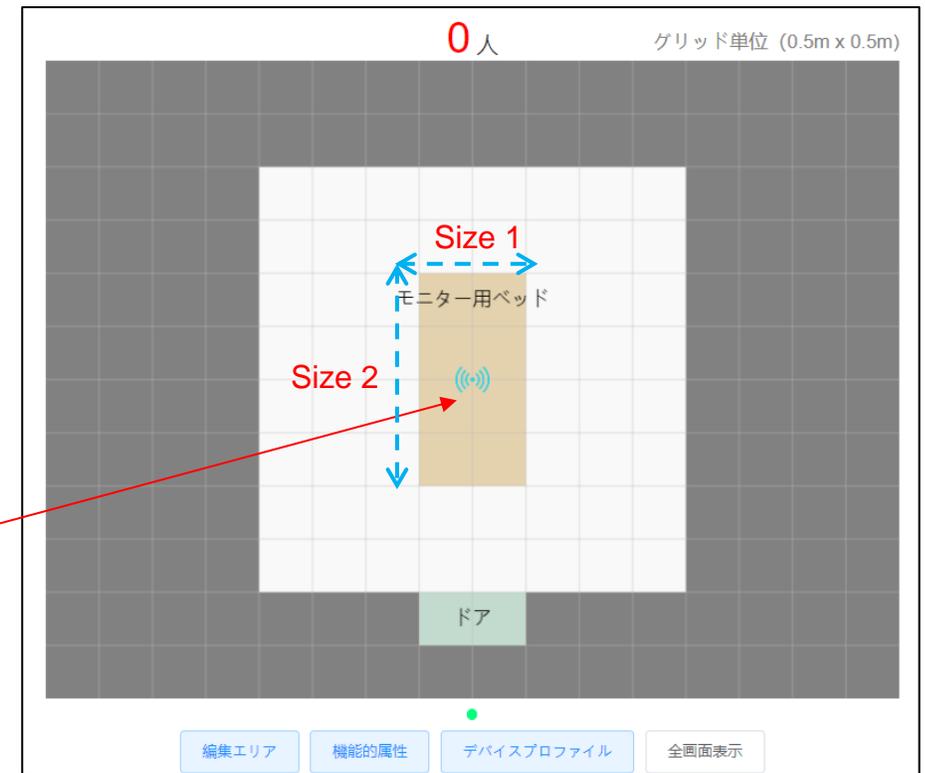
# 注意: モニタリングベッドの位置とサイズは必ず正確に(天井取付け)

デバイスの投影ポイント

- 管理用ソフトでモニタリングベッドの位置とサイズを設定します
- ✓ ミリ波レーダーはモニター用ベッドの中心に配置することが望ましく、モニター用ベッドの中心から0.5メートルずれることが許容されます。
- ✓ モニタリングベッドのサイズを正確に測定する必要があります



モニタリングベッドの実際の位置

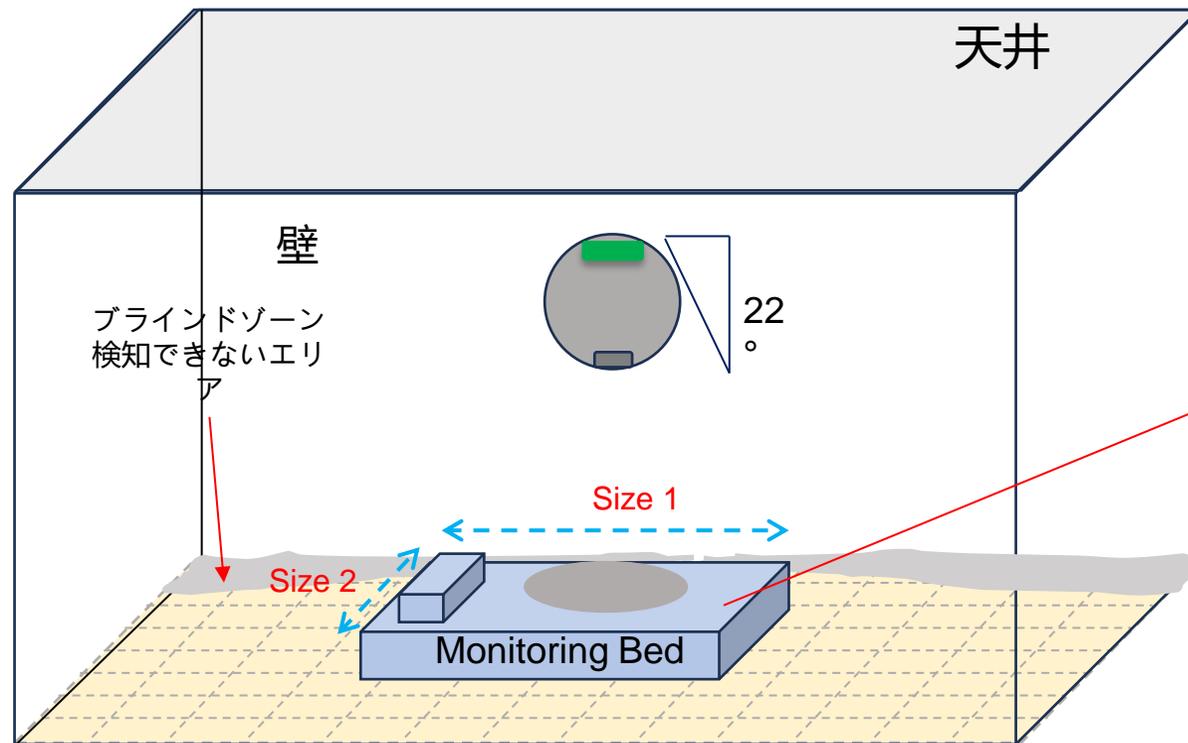


モニタリングベッドは管理用ソフトで設定します

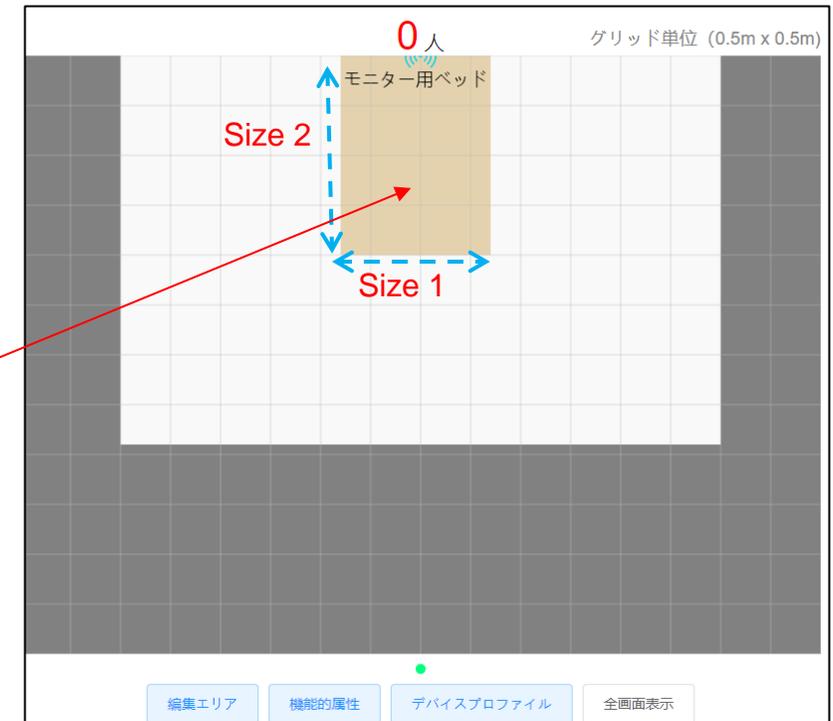
# 注意:モニタリングベッドの位置とサイズは必ず正確に(側壁取付け)

デバイスの投  
影ポイント

- 管理ソフトウェアで監視ベッドの位置とサイズを設定します
- ✓ ミリ波レーダーは、モニター用ベッドのレーダー側、ベッドの端の中央に配置するのが最適で、0.5mのずれは許容されます。
- ✓ 監視ベッドのサイズを正確に測定する必要があります。



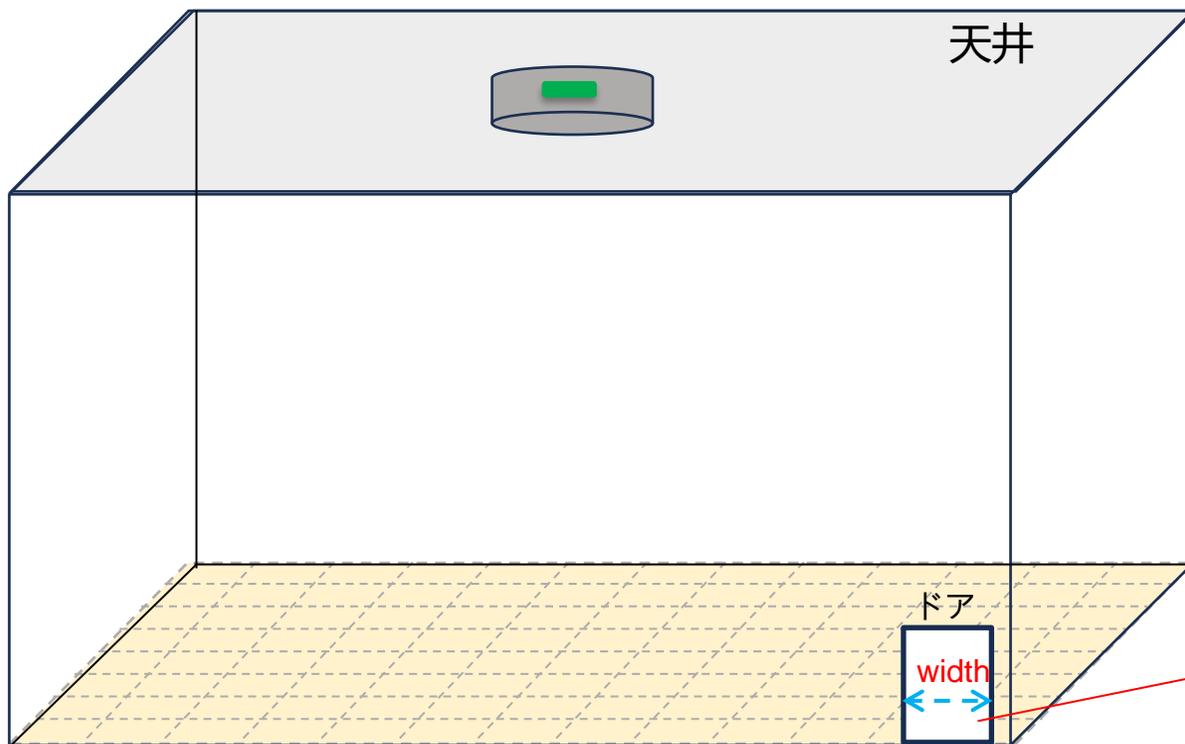
モニタリングベッドの実際の位置



モニタリングベッドは管理ソフトで設定します

## 注意: ドアの位置と幅の測定は必ず正確に

- 管理用ソフトでドアの位置と幅を設定します
- ✓ ドアの幅を正確に測定する必要があります
- ✓ ドア幅が2mを超える場合は複数のドアを設置してください。
- ✓ レーダー到達範囲端が壁等で遮られておらず、人の出入りが可能な場合は、その端に扉を設置してください。



ドアの実際の位置



ドアの境界はレーダー照射範囲とぴったり合わせるようにして、レーダー探知エリアとの距離は0mmにしても大丈夫です。

ドアは管理用ソフトで設定します

# 目次

## ■ インストレーションマニュアル

## ■ 設定マニュアル

- 説明と注意事項
- Web: Webページ (管理画面)
  - ログイン
  - レーダー探知エリアを設定します
  - エリアの追加
  - 複数の部屋またはデバイスの設定

# 企業アカウントで “care.alita3x.com ”にログインしてください

<https://care.alita3x.com>

日本語 ▾

ALITA

ログイン

▲ アカウントを入力してください

Ⓔ パスワードを入力してください

認証コードを入力してくださ **6SV6**

ログイン

パスワードを忘れる エンタープライズアカウントの作成

言語を選択する

企業アカウント

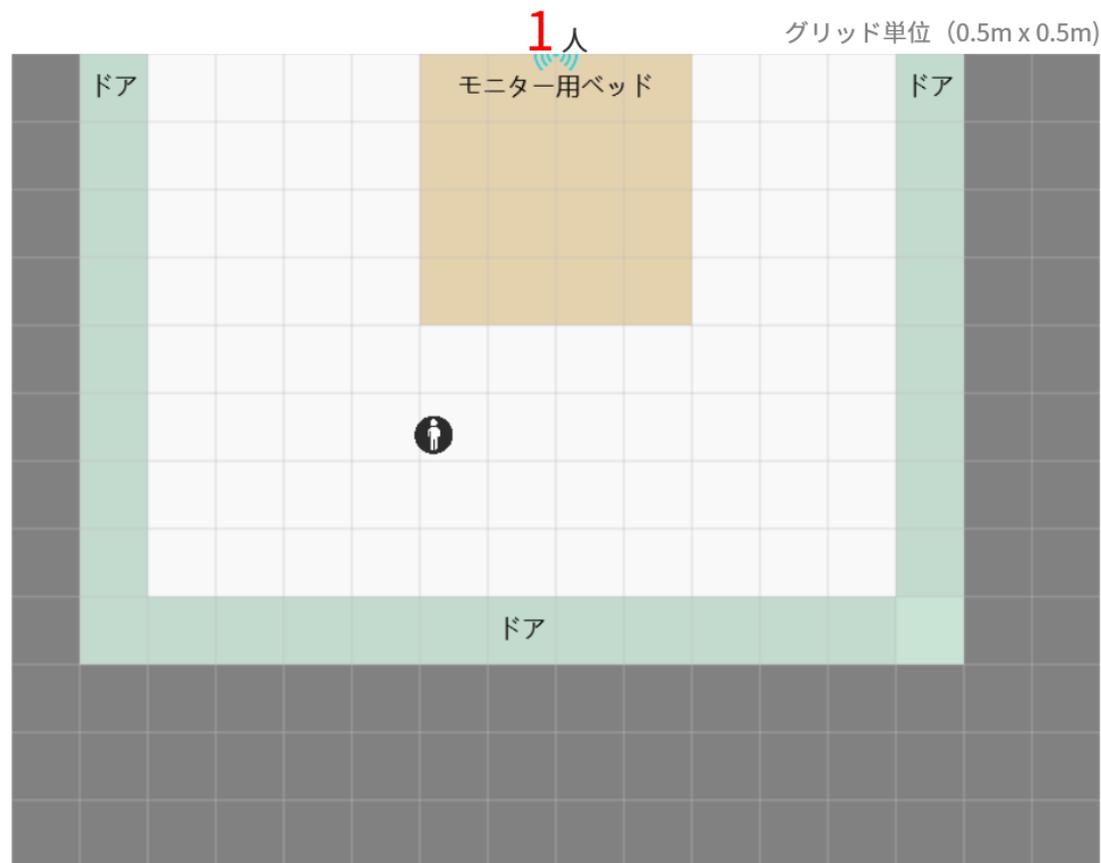
パスワード

右に出ている計算式の答えをこの欄に入力する

# レーダー探知エリアを設定します(1/3)



1. レーダーカバーエリアの設定を  
したいデバイスを選択



2. ここを  
クリック



# レーダー探知エリアを設定します(2/3)

## 3.レーダーカバーエリアの変更

### ⚠️注意

高さの単位は m です。(cm でも dm でもありません)

#### 取付方法

このレーダーは、サイドまたはトップマウントに対応しています。

トップマウント

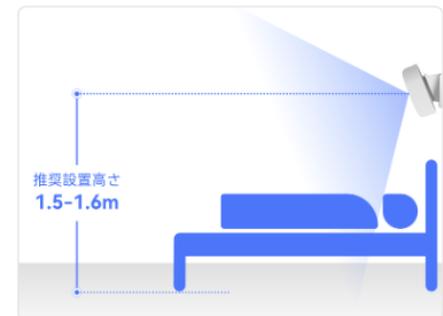
サイドマウント



#### 取付高さ

レーダーの正確な取付の高さを設定してください、誤差は±5cm以内です。

設置高さ (m)



#### 境界設定

壁の周りを歩いて、境界を自動的に特定するか、手動で境界を入力する。

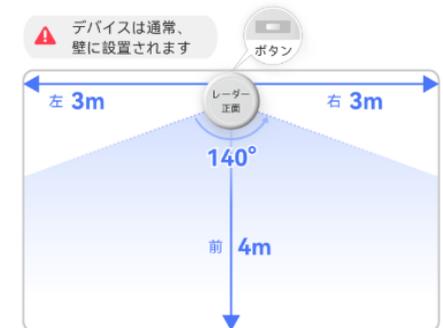
左枠 (メートル)



右枠 (メートル)



前境界 (m)



# レーダー探知エリアを設定します(2/3)

## 3.レーダーカバーエリアの変更

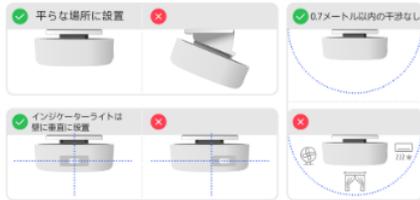
### ⚠注意

高さの単位はmです。(cmでもdmでもありません)

#### 取付方法

このレーダーは、サイドまたはトップマウントに対応しています。

トップマウント     サイドマウント

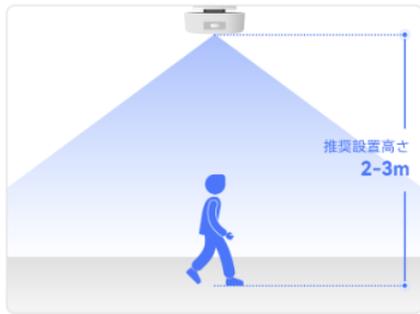


取付方法の注意事項: 緑のチェックマークは正しい設置方法、赤の×は間違いです。  
- 緑: 平らな場所に設置  
- 赤: 傾斜した場所に設置  
- 緑: 0.7メートル以内の手摺なし  
- 赤: インジケータライトは壁に垂直に設置

#### 取付高さ

レーダーの正確な取付の高さを設定してください、誤差は±5cm以内です。

設置高さ (m)



取付高さの図解: レーダーが壁に設置され、下方に扇形の探知領域が広がる様子。推奨設置高さは2-3mと示されています。

#### 境界設定

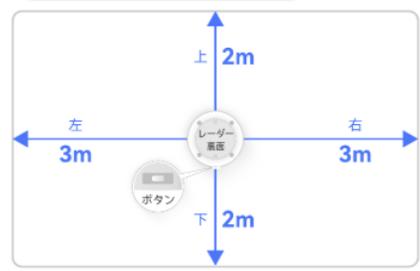
壁の周りを歩いて、境界を自動的に特定するか、手動で境界を入力する。

左枠 (メートル)

右枠 (メートル)

上境界 (m)

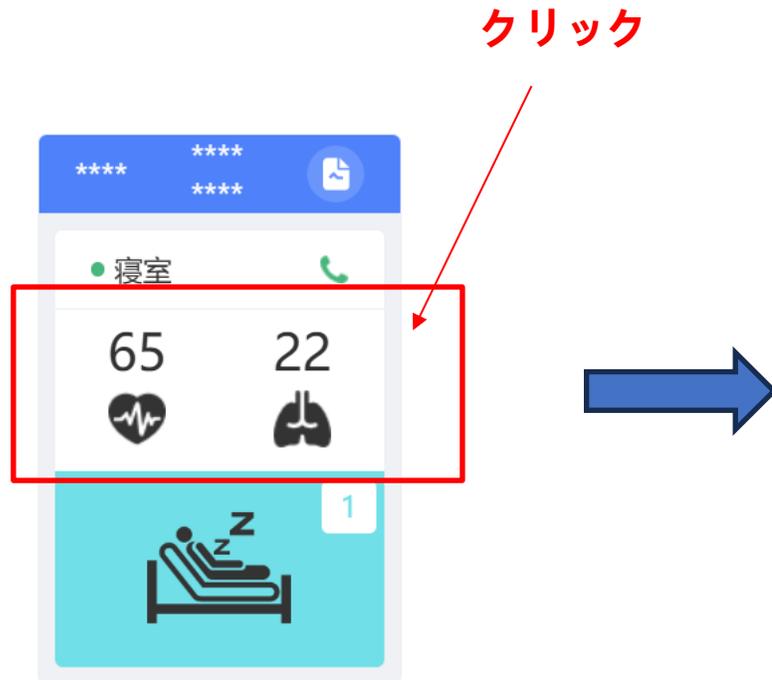
下境界 (m)



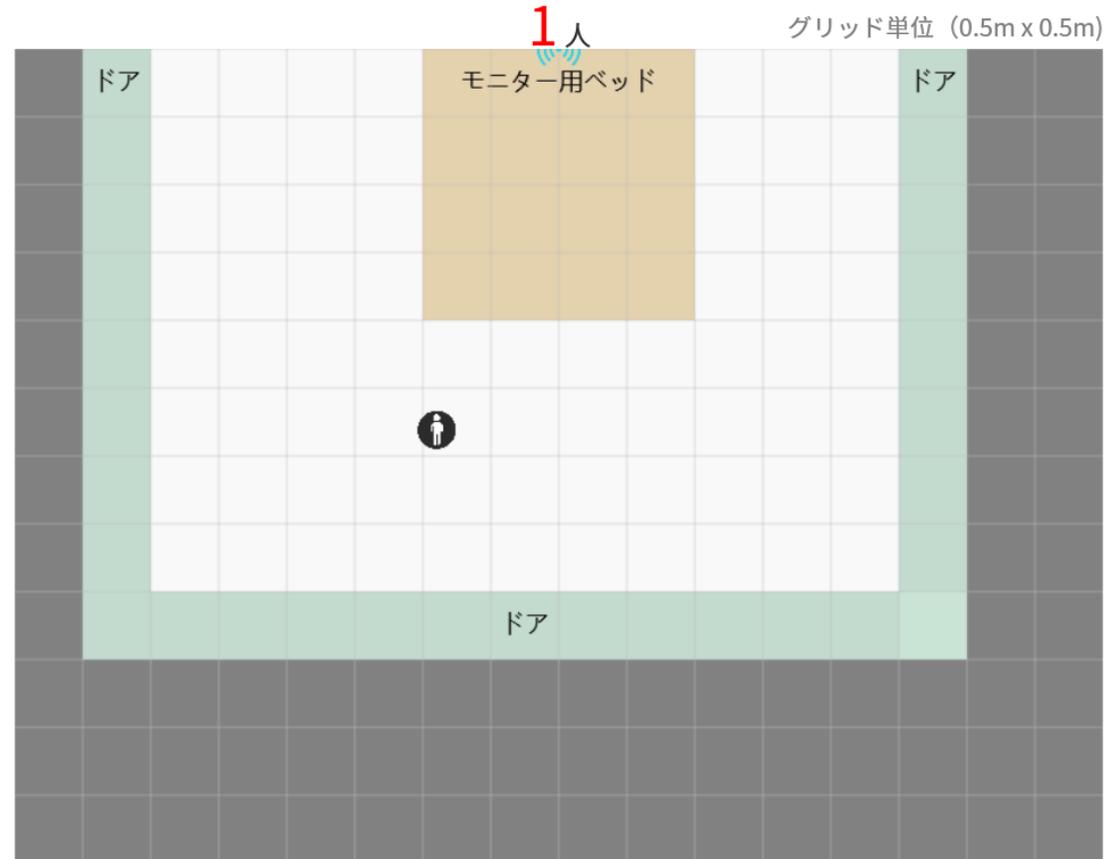
境界設定の図解: レーダーの位置を中心とした境界設定図。上: 2m, 下: 2m, 左: 3m, 右: 3m。レーダー表面とボタンも示されています。

⚠ デバイスは裏面を上にして配置されます

# 編集エリア(1/2)



1. レーダーカバーエリアの設定を  
したいデバイスを選択

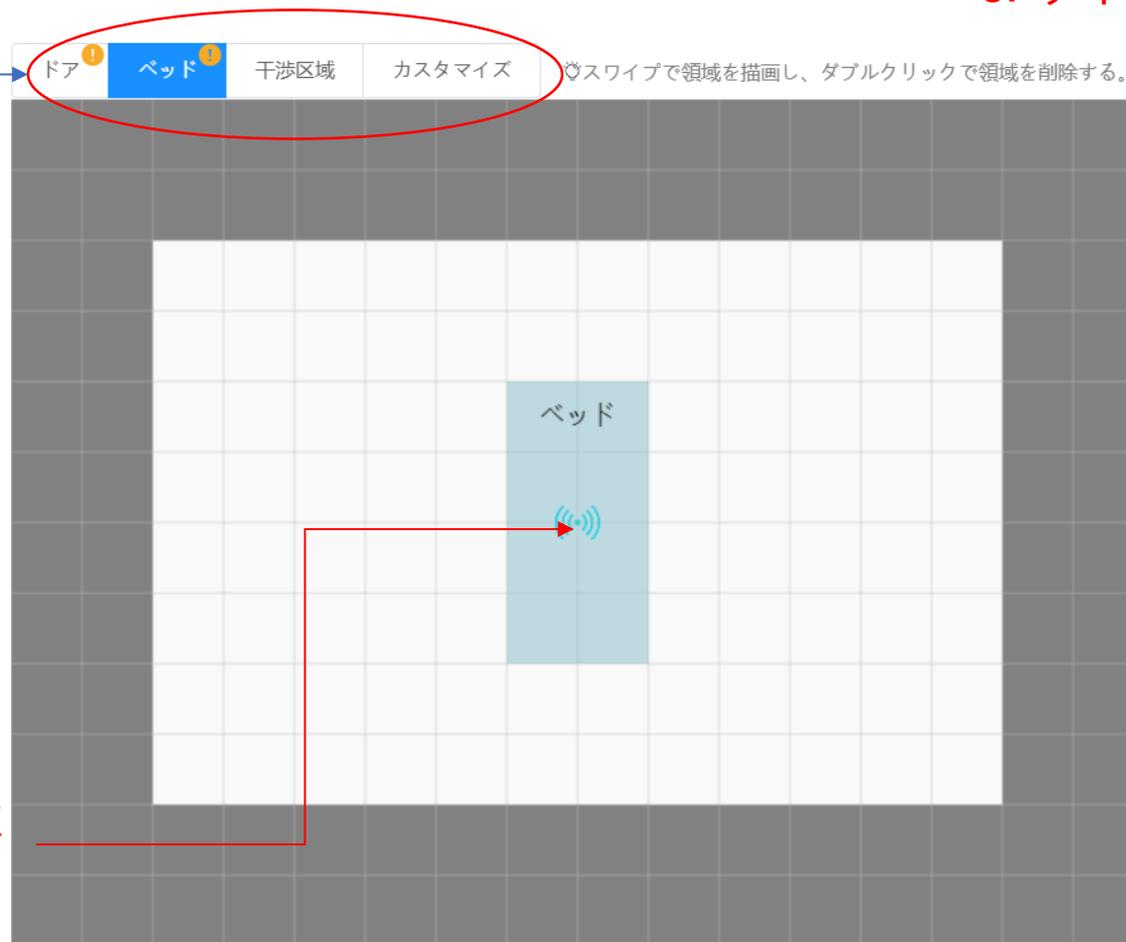


2. ここを  
クリック



# エリアの追加(2/2)

編集エリア



3. 追加したいエリアを選択する (例えば、ベッド)

4. 設定したい場所にマウスを置き、スライドさせます。

6. サイズの調整のため“拡大”を選択

サイズをご記入ください

長さ

 CM

幅

 CM

位置調整

エリア名

5. マウスで“上”，“下”，“左”，“右”をクリックしてポジションを調整する

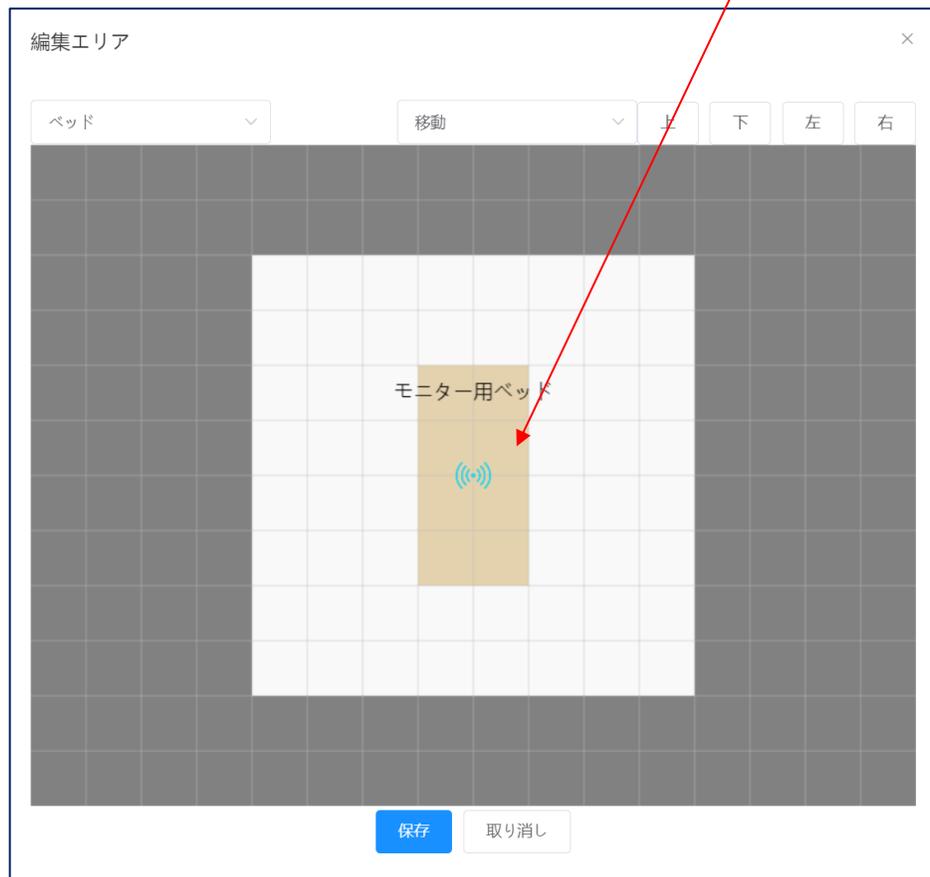
取り消し

保存

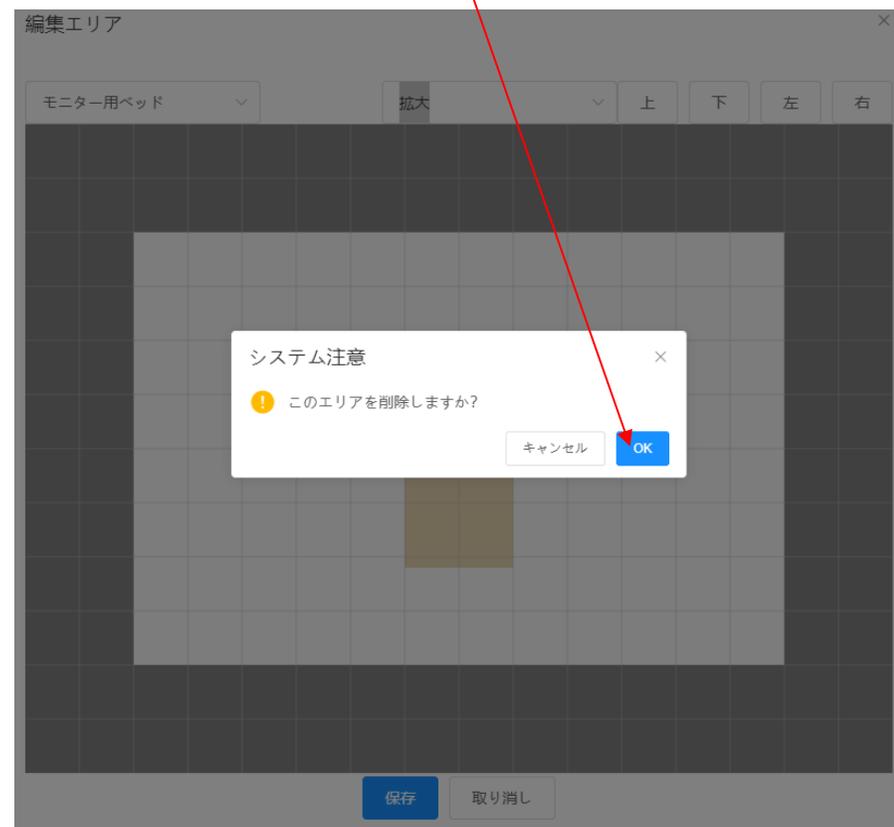
● ドアが設置されていません; 呼吸心拍数検出用モニタリングベッドが設置されていません

# エリアの削除

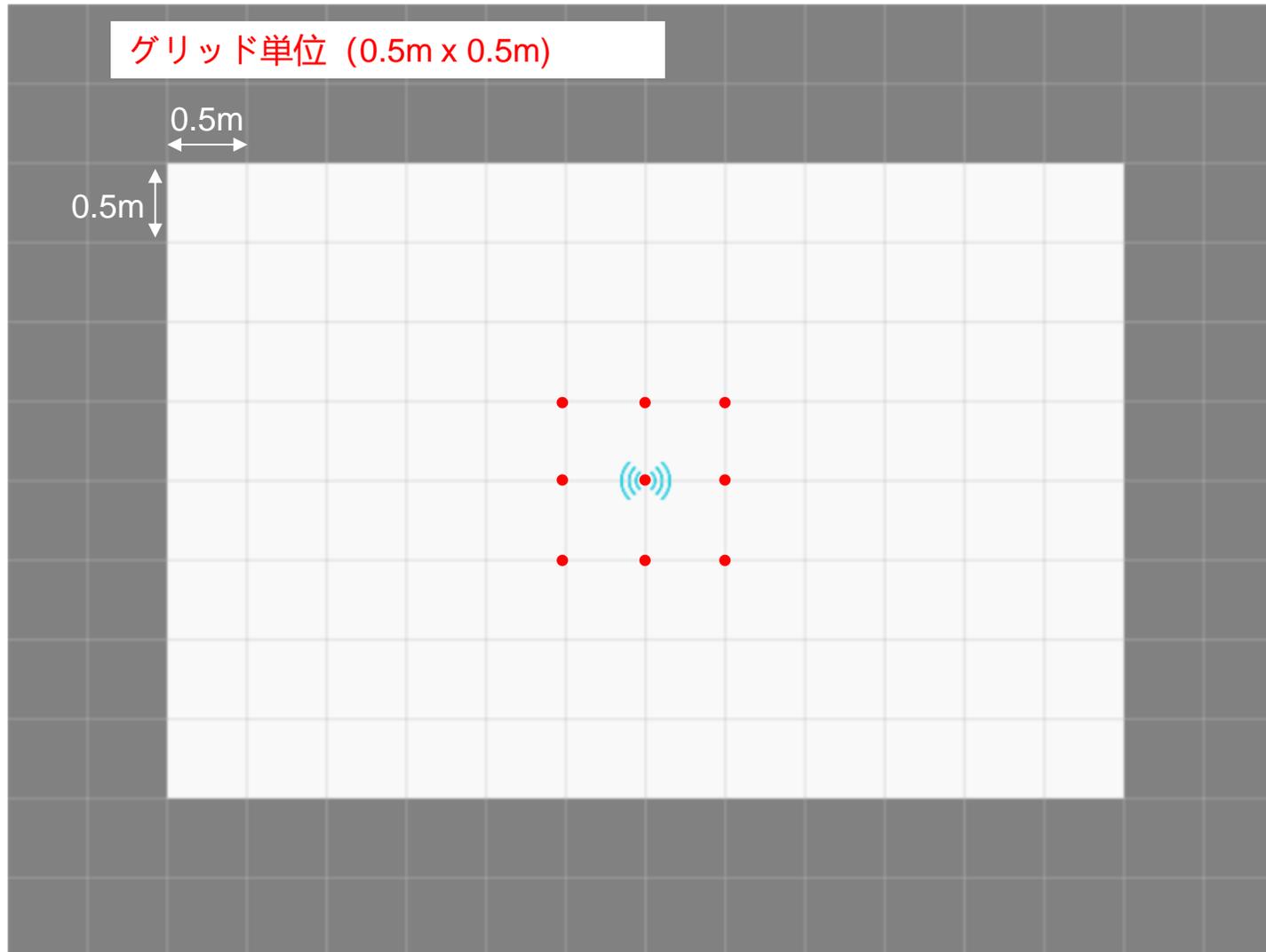
1. マウスをダブルクリックすることでエリアを削除する



2. 「OK」をクリック

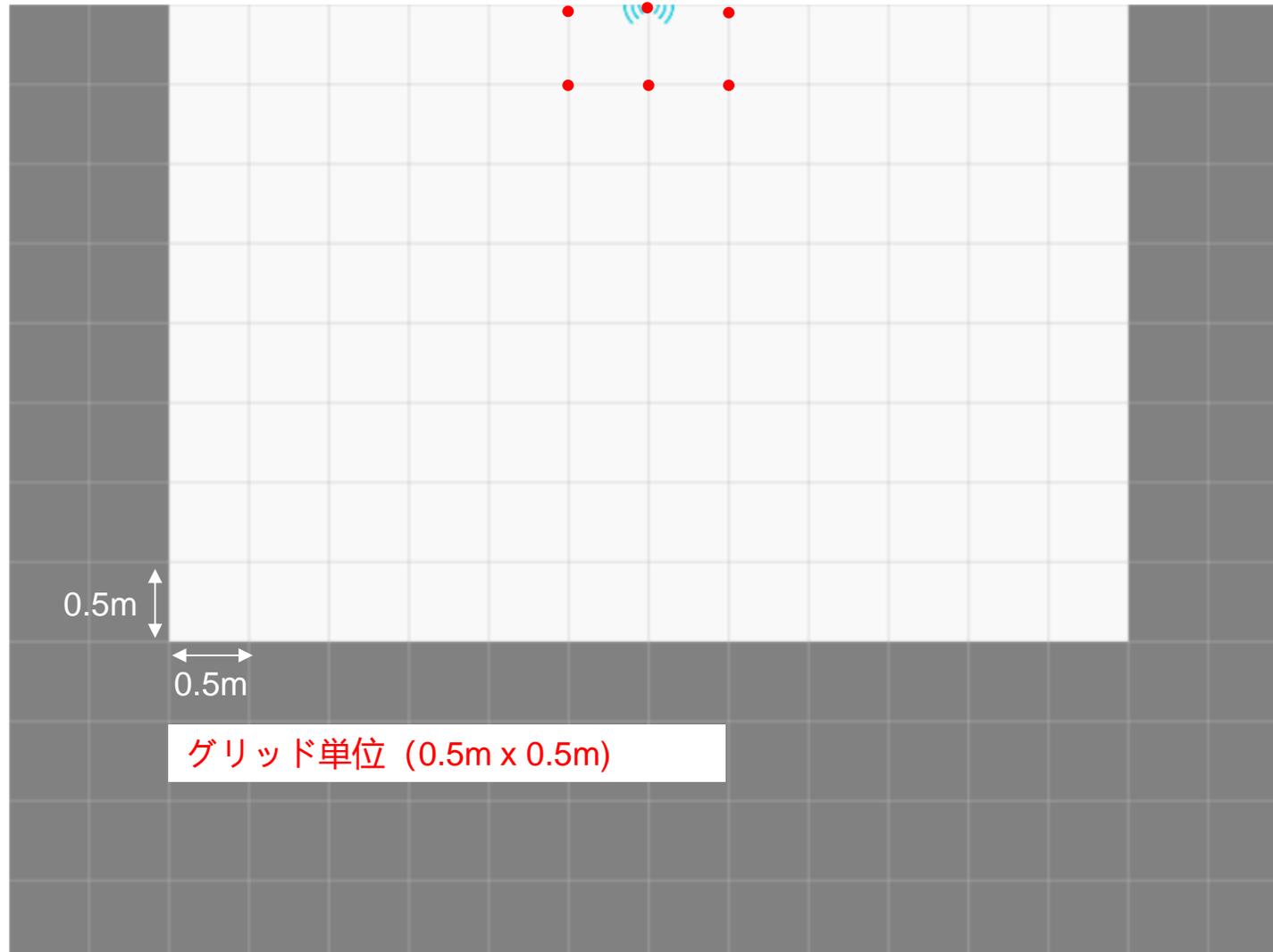


## モニタリングベッドの設定 (天井への取付け)



- ベッドの中心は9つの赤い点の位置にあり、サイズは2m\*2m未満です。MC デバイスは、ベッドをモニタリングベッドとして自動的に識別します。
- 注: 必ずベッドの中心に設置してください。

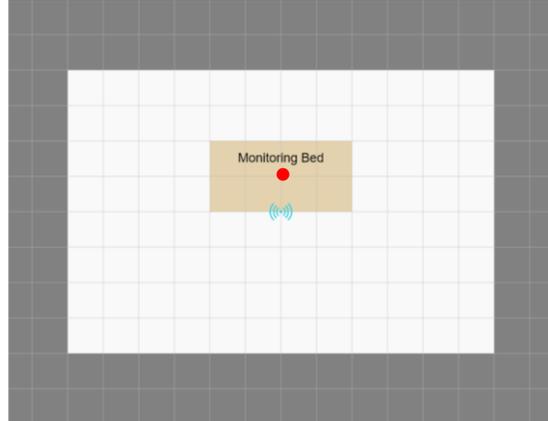
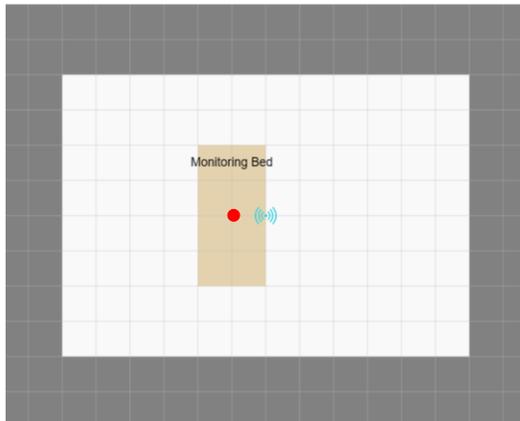
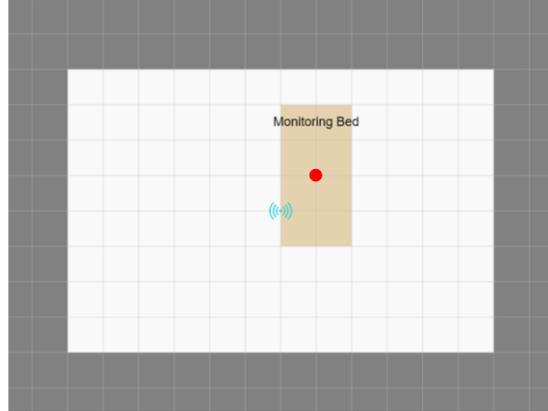
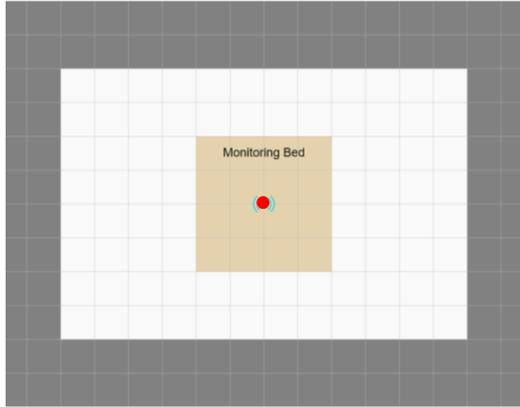
## モニタリングベッド設定 (側面取り付け)



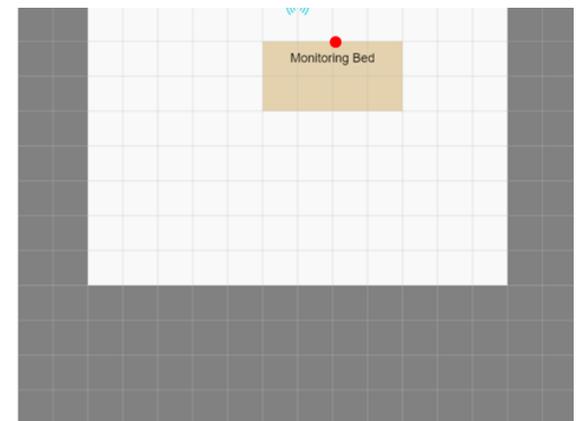
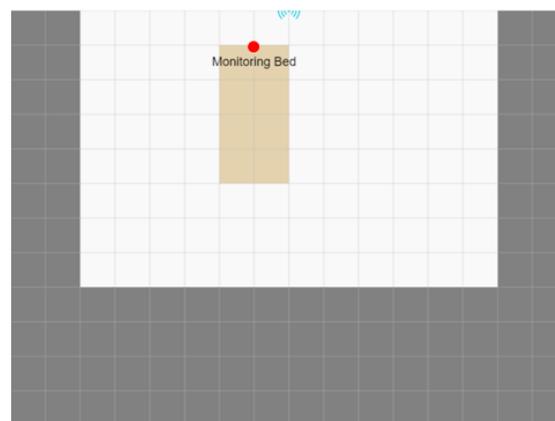
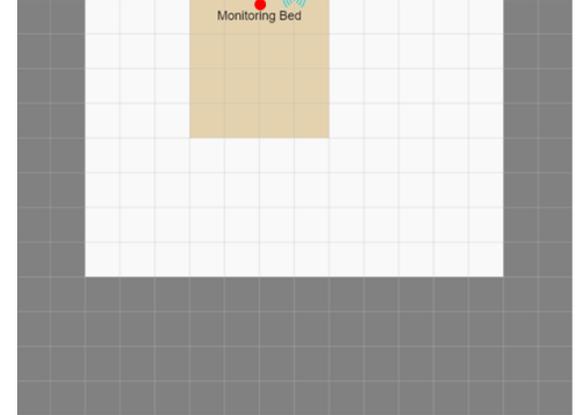
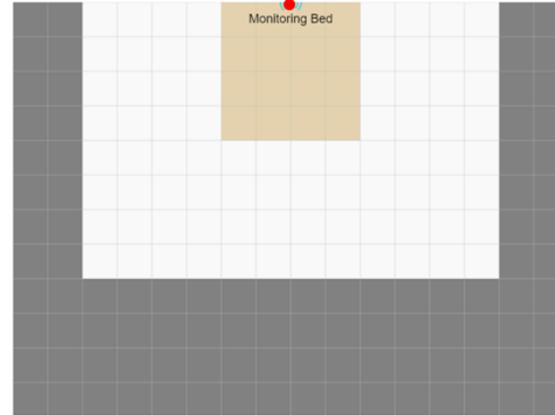
- レーダー側近くのベッドエッジの**中心**に、サイズが **2m\* 2m** 未満の赤い点が **6** つあります。MC デバイスはベッドをモニタリングベッドとして自動的に識別します。
- 注: レーダー側に近いベッドの端の**中心**に配置する必要があります

# 例えば

## 天井への取付け



## 壁面への取り付け



ALITA

お疲れ様でした!

[www.alita3x.com](http://www.alita3x.com)  
[support@alita3x.com](mailto:support@alita3x.com)

